

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

令和元年5月31日 現在

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
1	グローバル人材の育成に向けたESDの推進	補助等	④無 (前年度限りの事業)							
2	ユネスコ活動の助成	補助等	①有 (選定プロセス終了)	ユネスコ活動の助成	①について、 (平成31年度) 公募説明会や応募予定者からの問い合わせ内容を後日ホームページに公開する等、更なる情報の共有に努める。 ②について、 (平成31年度) 問合せへの対応や申請書の受付後の扱いについて公募要領に記載する等、より透明性の高い手続きを行う。 ③について、 (平成31年度) 利害関係の範囲について、審査会設置要綱により審査委員に通知するだけでなく、応募予定者を含めて広く周知する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合の対応等、審査委員に対しての注意事項を審査要領に記載し、より審査会の透明性を高めるよう努める。 ⑥について、 (平成31年度) 引き続き審査委員に関する情報管理を徹底するとともに、審査委員本人に対して、自らが審査委員であることを公言しないよう周知する。 ⑦について、 (平成31年度) 審査委員の評価やコメントの通知について、より具体的なものを提供するよう努める。	対応スミ				
3	(一般会計) 公立諸学校建物其他災害復旧費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
4	(一般会計) 公立諸学校建物其他災害復旧費負担金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
5	(一般会計) 公立文教施設整備等都道府県事務費交付金 (公立文教施設災害復旧事務費)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
6	(復興特会) 公立諸学校建物其他災害復旧費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
7	(復興特会) 公立諸学校建物其他災害復旧費負担金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
8	(復興特会) 公立文教施設整備等都道府県事務費交付金 (公立文教施設災害復旧事務費)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
9	公立学校施設整備費負担金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
10	学校施設環境改善交付金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)						⑧について、 採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	
11	福島原子力災害避難区域教育復興施設整備費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
12	福島再生加速化交付金 (帰還環境整備)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
13	東日本大震災復興交付金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
14	沖縄振興公共投資交付金	補助等	①有 (選定プロセス終了)	沖縄振興公共投資交付金						
15	北方領土隣接地域振興等事業補助率差額	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
16	国立大学法人等施設整備事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	国立大学法人等施設整備事業						
17	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金	補助等	①有 (選定プロセス終了)	学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助金					⑧について、 採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ
18	福島県双葉郡中高一貫校設置事業 (設置・備品)	補助等	④無 (前年度限りの事業)							

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
19	へき地児童生徒援助費等補助	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
20	補習等のための指導員等派遣事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	補習等のための指導員等派遣事業				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
21	被災地通学用バス等購入費補助金	補助等	①有 (選定プロセス終了)	被災地通学用バス等購入費補助金				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
22	要保護児童生徒援助費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
23	被災児童就学支援等事業交付金 (東日本大震災)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
24	被災児童就学支援等事業交付金 (大規模災害等)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
25	高等学校等就学支援金交付金	補助等	①有 (選定プロセス終了)	高等学校等就学支援金交付金						
26	高等学校等就学支援金交付金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
27	高等学校等就学支援金事務費交付金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
28	高等学校等修学支援事業費補助金 (学び直しへの支援)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
29	高等学校等修学支援事業費補助金 (家計急変世帯への支援)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
30	高等学校等修学支援事業費補助金 (海外の日本人高校生への支援)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
31	アイヌ子弟高等学校等進学奨励費 (高校・高专)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
32	高等学校等修学支援事業費補助金 (奨学のための給付金)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
33	私立中学校等修学支援実証事業費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
34	理科観察実験支援事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	理科観察実験支援事業				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
35	理科教育設備整備費等補助金 (設備整備)	補助等	①有 (選定プロセス終了)	理科教育設備整備費等補助金 (設備整備)				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
36	スクールカウンセラー等活用事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	スクールカウンセラー等活用事業				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
37	スクールソーシャルワーカー活用事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	スクールソーシャルワーカー活用事業				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
38	いじめ問題等の解決に向けた外部専門家活用事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	いじめ問題等の解決に向けた外部専門家活用事業				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
39	SNS等を活用した相談体制の構築事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	SNS等を活用した相談体制の構築事業				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
40	SNS等を活用した相談体制の構築事業 (追加募集)	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	SNS等を活用した相談体制の構築事業				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
41	緊急スクールカウンセラー等活用事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	緊急スクールカウンセラー等活用事業				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
42	私立幼稚園施設整備費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		⑧について、(平成31年度)要綱に適合しているか判断し、引き続き採択方針を定め、適切に採択を行う。			⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
43	幼稚園就園奨励費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
44	認定こども園施設整備交付金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
45	教育支援体制整備事業交付金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
46	切れ目ない支援体制整備充実事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	切れ目ない支援体制整備充実事業				⑧については、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
47	53特別支援教育就学奨励費負担等 (負担金、補助金)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
48	特別支援教育就学奨励費負担等 (交付金)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
49	特別支援教育設備整備費等補助	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
50	私立高等学校等経常費助成費補助金 (幼稚園特別支援教育経費)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
51	私立大学等経常費補助金 (私立高等学校等経常費補助)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
52	アジア高校生架け橋プロジェクト	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	アジア高校生架け橋プロジェクト				⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
53	社会総がかりで行う高校生留学促進事業 (県)	補助等	①有 (選定プロセス終了)	社会総がかりで行う高校生留学促進事業 (県)				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	一部未対応	③⑦については対応済み ⑤については、本事業は外部審査委員による評価は受けることとしているが、採択の決定についてはあらかじめ定められている採択基準に従って行っている。 また、約160件を超える事業の審査を行う必要があり、複数の外部審査委員に審査を分担して行っていたこと、外部審査委員全員に集計結果の共有は行っていないところ。
54	社会総がかりで行う高校生留学促進事業 (民間)	補助等	①有 (選定プロセス終了)	社会総がかりで行う高校生留学促進事業 (民間)				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応済み	
55	平成30年度「公立学校における帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業」	補助等	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度「帰国・外国人児童生徒等に対するきめ細かな支援事業」				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応済み	
56	教員講習開設事業費等補助金 (①山間地離島へき地等免許状更新講習開設事業)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
57	教員講習開設事業費等補助金 (②特殊要因教科・科目免許状更新講習開設事業)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
58	教員講習開設事業費等補助金 (③免許状更新講習障害者支援事業)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
59	教員講習開設事業費等補助金 (④通信・放送・インターネット等による講習開発支援事業)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
60	大学の世界展開力強化事業	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)				③について、(平成31年度)平成31年度以降も公募が行われる場合には、現状の取組を継続しつつ、利害関係者の範囲については、より適切な運営に資するよう省全体の議論を踏まえつつ、例示の追加等の検討を行う。	③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
61	卓越大学院プログラム	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
62	未来価値創造人材育成プログラム (超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業)	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	未来価値創造人材育成プログラム (超スマート社会の実現に向けたデータサイエンティスト育成事業)						
63	未来価値創造人材育成プログラム (科学技術の社会実装教育エコシステム拠点の形成)	補助等	④無 (前年度限りの事業)							

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
64	課題解決型高度医療人材養成プログラム	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
65	大学における医療人養成の在り方に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					①について、公募内容に係る質問の回答を全ての参加者に周知すべき。 ②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
66	国立大学法人機能強化促進補助金	補助等	④無 (前年度限りの事業)							
67	国立大学改革強化推進補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
68	私立大学等経常費補助	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
69	私立大学等経常費補助 (私立大学等経営強化集中支援事業)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
70	私立大学等経常費補助 (私立大学等改革総合支援事業)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
71	私立高等学校等経常費助成費補助金 (一般補助)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
72	私立高等学校等経常費助成費補助金 (特別補助 (教育改革推進特別経費、過疎高等学校特別経費))	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
73	私立高等学校等経常費助成費補助金 (特別補助 (授業料減免事業等支援特別経費))	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
74	私立大学等経常費補助金 (私立高等学校等経常費補助 (広域通信制教育の支援))	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
75	私立大学等研究設備整備費等補助金 (私立高等学校等 I T 教育設備整備推進事業費)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
76	私立大学等研究設備整備等	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、 ・1事業あたりの書面審査の審査員の数を適切に見直すべき。 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、共有すべき。		
77	私立学校教育研究装置等施設整備費補助	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、 ・1事業あたりの書面審査の審査員の数を適切に見直すべき。 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、共有すべき。		
78	防災機能等強化緊急特別推進事業	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
79	私立高等学校等施設高機能化整備費	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
80	私立学校施設高度化推進事業費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
81	ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
82	データ関連人材育成プログラム	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
83	地域イノベーション・エコシステム形成プログラム	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑦について、実際に運用された実績はないが、審査要領において採択における例外的な取扱いを定めるのであれば、明確な基準を作成するなど恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
84	オープンイノベーション機構の整備	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
85	先端加速器の低コスト化基盤技術の開発	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	先端加速器の低コスト化基盤技術の開発						
86	世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	世界トップレベル研究拠点プログラム (WPI)						
87	特色ある共同研究拠点の整備の推進事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	特色ある共同研究拠点の整備の推進事業	①について、(平成31年度) 個別に問い合わせを受けた場合、必要に応じてホームページ等で質問と回答を公表する。 ⑦について、(平成31年度) 採択結果等の公表をしているが、さらに採択に至るプロセスをホームページ等に掲載する。	対応スミ				
88	科学研究費助成事業 (新学術領域研究)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
89	科学研究費助成事業 (特定奨励費)	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	科学研究費助成事業 (特定奨励費)				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
90	科学研究費助成事業 (特別研究促進費)	補助等	④無 (前年度限りの事業)							
91	Society5.0実現化研究拠点支援事業	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	Society5.0実現化研究拠点支援事業						
92	次世代領域研究開発	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	次世代領域研究開発	①について、(平成30年度) より幅広い者からの申請が可能となるよう、昨年度の公募期間が3週間強であったところ、公募期間を既定の3倍程度の2か月とした。					
93	国際原子力人材育成イニシアティブ	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
94	スポーツによる地域活性化推進事業 (運動・スポーツ習慣化促進事業)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲の明確化を検討する。 ④について、(平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員会からも該当があれば申告してもらうよう、審査依頼状等に記載する。 ⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。 ⑥について、(平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
95	スポーツによる地域活性化推進事業 (スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業)	補助等	①有 (選定プロセス終了)	スポーツによる地域活性化推進事業 (スポーツによるまちづくり・地域活性化活動支援事業)	③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。 ④について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。 ⑤について、(平成31年度) 対面で審査委員会を実施し、他の委員の意見を共有する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
96	平成30年度私立学校施設整備費補助金 (学校体育諸施設補助)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (庁費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
97	アーティスト・イン・レジデンス活動を通じた国際文化交流促進事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度アーティスト・イン・レジデンス活動支援を通じた国際文化交流促進事業	<p>②について、(平成31年度) 本年10月の文化庁改編に伴い、来年度事業の所管課が変更となることもあり、これまでのノウハウを移管課に共有し、適切に行う。</p> <p>③について、(平成31年度) 利害関係者等の範囲を募集案内等に記載する。</p> <p>④について、(平成30年度) 書面審査を行う際の連絡文書に、注意事項として、利害関係を有する場合は、事前に申し出るよう記載した。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合の注意喚起を審査委員に行う。</p>	対応スミ		<p>⑤について、申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨を審査要領等に記載すべき。</p>	対応スミ	
98	平成30年度文化芸術創造拠点形成事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度文化芸術創造拠点形成事業	<p>③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、そのことを公募要領等に記載する。</p>	対応スミ				
99	観光拠点形成重点支援事業歴史文化基本構想活用推進枠	補助等	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、(平成31年度) ・問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっているが、そのことを公募要領等に記載する。 ・締切後に申請書類の受付について余地がないよう、公募要領等に記載する。</p> <p>③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有し、そのことを募集案内に記載するとともに、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう、審査委員会を求める。</p> <p>④について、(平成31年度) ・今後、委員が利害関係者等になる場合、申請した案件の審査から除外するようにする。</p> <p>⑤について、(平成31年度) ・審査委員に対して秘密保持を担保していることを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起するとともに、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑦について、(平成31年度) 不採択についても公表する。</p>					
100	歴史文化基本構想策定支援事業	補助等	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、(平成31年度) ・問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっているが、そのことを公募要領等に記載する。 ・締切後に申請書類の受付について余地がないよう、公募要領等に記載する。</p> <p>③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有し、そのことを募集案内に記載するとともに、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう、審査委員会を求める。</p> <p>④について、(平成31年度) ・今後、委員が利害関係者等になる場合、申請した案件の審査から除外するようにする。</p> <p>⑤について、(平成31年度) ・審査委員に対して秘密保持を担保していることを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起するとともに、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑦について、(平成31年度) 不採択についても公表する。</p>					

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
101	文化財保存活用地域計画等作成支援事業	補助等	④無 (前年度限りの事業)		①について、(平成31年度) 一律に公平な取り扱いとなっていることを募集案内に記載する。 ②について、(平成31年度) 一律に公平な取り扱いとなっていること、締め切り後の書類の訂正等の余地がないことを公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、募集案内に記載し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員会を求める。 ④について、(平成31年度) 委員が利害関係者等になる場合、審査から除外するよう委員会規則を変更する。 ⑤について、(平成30年度) ・平成30年度事業については、書類審査とする。 ・委員に申請者からの働きかけ等があった場合、申し出るよう通告するとともに、該当する申請の審査から除外する。 (平成31年度) 平成31年度以降は審査委員に対して秘密保持を担保していることを審査要領等に記載し、申請者等からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起するとともに、そのことを審査要領等に記載する。			⑤について、申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
102	メディア芸術アーカイブ推進支援事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	メディア芸術アーカイブ推進支援事業	②について、(平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないようにしているが、そのことを公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 審査要領に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。	対応スミ				
103	国際共同製作映画支援事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	国際共同製作映画支援事業	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、すべての参加者に選定結果や不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
104	平成30年度大学における文化芸術推進事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	2019年度大学における文化芸術推進事業				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
105	平成30年度国際芸術交流支援事業	補助等	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
106	平成30年度優れた現代美術の海外発信促進事業 (一次募集、二次募集)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
107	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
108	史跡等購入費補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
109	国際芸術交流支援事業	補助等	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
110	文化財多言語解説整備事業	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して一定の考え方により調整をしているが、補助率の増減等の取扱いが要項から分かりづらいので要項の見直しや明確な採択及び配分の基準を作成するなど、恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
111	文化遺産総合活用推進事業 (地域文化遺産活性化事業)	補助等	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定め、協力者会議委員に共有する。また、現行、協力者会議委員について、利害関係者や利益相反等に当たる者を選定していないが、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう求めることとする。</p> <p>④について、 (平成31年度) 協力者会議委員について、現行、利害関係者や利益相反等に当たる者を選定していないことから、平成31年度以降も引き続き、当該者を協力者会議委員の選定対象としないこととする。また、利益相反の可能性がある場合には、申し出るよう求めることとする。また、該当する案件がある場合、当該者については意見聴取の対象から除外するようにする。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 審査については、協力者会議委員及び事務局 (担当課職員) においてチェックしており、公平性・公正性が担保されるよう配慮しているが、審査委員に対して秘密保持の担保や外部からの働きかけに係る注意喚起等は特段行っていないため、当該注意喚起を行うこととする。</p>			<p>⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けると共に、その旨審査要領等に記載すべき。</p> <p>⑦について、 申請されたものを予算の範囲内で合理的と考える調整をしているが、明確な配分の基準を作成するなど、恣意的な運用ができない制度を構築すべき。</p>		
112	地域の美術館・歴史博物館クラスター形成支援事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	博物館クラスター形成支援事業				<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、 補助率の増減等の取扱いを公募要領等で明文化すべき。</p> <p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を明文化すべき。</p> <p>⑤について、 補助率のかさ上げがあり得る事業なので、あらかじめ配分基準を審査要領等で明確にすべき。</p>	対応スミ	
113	地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	地域と共働した博物館創造活動支援事業				<p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p>	対応スミ	
114	美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	美術館・歴史博物館重点分野推進支援事業				<p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p>	対応スミ	
115	日本遺産魅力発信推進事業 (既存認定分)	補助等	①有 (選定プロセス終了)	地域文化財総合活用推進事業				<p>⑥について、 機械的にすべての事業を採択する制度となっているが、配分についての基準及びヒアリングの記録を作成するなど恣意的な運用ができない制度を構築すべき。</p>	対応スミ	
116	日本遺産魅力発信推進事業 (新規認定分)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					<p>⑧について、 機械的にすべての事業を採択する制度となっているが、配分についての基準及びヒアリングの記録を作成するなど恣意的な運用ができない制度を構築すべき。</p>		
117	文化遺産総合活用推進事業 (世界文化遺産活性化事業)	補助等	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定め、協力者会議委員に共有する。また、現行、協力者会議委員について、利害関係者や利益相反等に当たる者を選定していないが、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう求めることとする。</p> <p>④について、 (平成31年度) 協力者会議委員について、現行、利害関係者や利益相反等に当たる者を選定していないことから、平成31年度以降も引き続き、当該者を協力者会議委員の選定対象としないこととする。また、利益相反の可能性がある場合には、申し出るよう求めることとする。また、該当する案件がある場合、当該者については意見聴取の対象から除外するようにする。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 審査については、協力者会議委員及び事務局 (担当課職員) においてチェックしており、公平性・公正性が担保されるよう配慮しているが、審査委員に対して秘密保持の担保や外部からの働きかけに係る注意喚起等は特段行っていないため、当該注意喚起を行うこととする。</p>			<p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p> <p>⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に義務付けると共に、その旨審査要領等に記載すべき。</p> <p>⑦について 申請されたものを予算の範囲内で合理的と考える調整をしているが、明確な配分の基準を作成するなど、恣意的な運用ができない制度を構築すべき。</p>		
118	平成30年度文部科学省における基本的な政策の立案・評価に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
119	国際バカロレアに関する国内推進体制の構築	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	国際バカロレアに関する国内推進体制の構築				<p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p>		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (庁費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
120	初等中等教職員国際交流事業	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	初等中等教職員国際交流事業	<p>①について、(平成31年度) 公募説明会や応募予定者からの問合せ内容を後日ホームページに公開する等、更なる情報の共有に努める。</p> <p>②について、(平成31年度) 締切後に申請書の差し替えや再提出は認めない旨を公募要領に明記する。</p> <p>③について、(平成31年度) ・利害関係の範囲について、審査委員会設置要綱により審査委員に通知するだけでなく、応募予定者を含めて広く周知することとする。 ・審査委員に対し、審査委員会設置要綱に記載した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めることとする。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合の対応等、審査委員に対しての注意事項を審査要領に記載し、より審査会の透明性を高めるよう努める。</p> <p>⑥について、(平成31年度) 引き続き審査委員に関する情報管理を徹底するとともに、審査委員本人に対して、自ら審査委員であることを公言しないよう周知する。</p> <p>⑦について、(平成31年度) 採択の通知について、不採択となった応募者がいる場合には、不採択理由を採択結果とともに通知し、採択事業者については事業実施にあたっての改善点を通知することとする。</p>			①について、公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。		
121	日本型教育の海外展開推進事業	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	日本型教育の海外展開推進事業	<p>①について、(平成31年度) 説明会での質問や個別の問合せに対する回答をホームページに掲載する。</p> <p>②について、(平成31年度) 締切後に申請書の差し替えや再提出は認めない旨を公募要領に明記する。</p> <p>③について、(平成31年度) ・審査委員会の設置要綱や公募要領等において、利害関係者や利益相反者等の範囲を明確に定めるとともに、親密な個人的関係や密接な師弟関係にある者まで排除する旨を記載する。 ・審査委員に対し、公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。</p> <p>④について、(平成31年度) ・審査委員会の設置要綱や公募要領等において、利害関係者や利益相反者等の範囲を明確に定めるとともに、親密な個人的関係や密接な師弟関係にある者まで排除する旨を記載する。 ・審査委員に対し、公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。</p> <p>⑤について、(平成31年度) ・審査委員に対して秘密保持を担保するように、その旨を審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあれば申し出るよう注意喚起を行うとともに、審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、(平成31年度) 審査委員と適切な時期に公表する</p>			③について、審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
122	新時代の教育のための国際協働プログラム (教員交流)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>①について、(平成31年度) 公募説明会に参加できなかった応募予定者向けに説明会で受けた質問とその回答をホームページに掲載することを検討。</p> <p>②について、(平成31年度) 締切後の書類提出や修正を受け付けない旨を公募要領に明記する。</p> <p>③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査基準 (要領) に明記する。</p> <p>④について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査基準 (要領) に明記する。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査基準 (要領) 等に明記する。</p>			①について、公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
123	日本/ユネスコパートナーシップ事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>①について、 (平成31年度) ・公募に際し、全希望者が出席可能な公募説明会を開催するとともに、公募要領だけでなく、審査基準も併せて公表する等、審査に係る情報についてより一層の公平性をもって提供する。 ・公募説明会や応募予定者からの問い合わせ内容を後日ホームページに公開する等、更なる情報の共有に努める。</p> <p>②について、 (平成31年度) 問合せへの対応や申請書の受付後の扱いについて公募要領に記載する等、より透明性の高い手続きを行う。</p> <p>③について、 (平成31年度) 利害関係の範囲について、「審査委員会について」により審査委員に通知するだけでなく、応募予定者を含めて広く周知する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合の対応等、審査委員に対しての注意事項を審査基準等に記載し、より審査会の透明性を高めるよう努める。</p> <p>⑥について、 (平成31年度) 引き続き審査委員に関する情報管理を徹底する。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 通知する採択理由や不採択理由について、より具体的なものを提供できるよう努める。</p>			<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p>		
124	文教施設におけるコンセッション事業に関する先導的開発事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	文教施設における多様なPPP/PPFの先導的開発事業	<p>③について、 (平成31年度) ・引き続き、これまでの取組を継続実施するとともに、応募者との利害関係等の可能性がある場合には申し出るよう選定委員に求める。 ・利害関係者等の範囲を定め、選定委員に共有することとする。</p>	対応スミ		<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p>	対応スミ	
125	学校施設の安全性の確保及び防災機能強化の検討 (仮称)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
126	初等中等教育等振興事業委託費 (効率的かつ効果的な学校施設の整備に関する事例集作成業務)	委託	④無 (前年度限りの事業)					<p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p>		
127	PPP/PPF手法の検討及び留意点等の整理を行う先導的開発事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることや、締切後に申請書類の受付や修正ができない旨公募要項に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 審査基準に審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合、当該申請の審査をすることができない旨を記載する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 審査基準に委員からの申出等により、利害関係が認められる場合には、当該委員を当該競争参加者の審査から外す旨を記載する。</p>			<p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p>		
128	国立大学附属病院の再開発整備に関する調査研究業務	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることや、締切後に申請書類の受付や修正ができない旨公募要項に記載する。</p>			<p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p>		
129	国立大学法人等施設の長寿命化に関する指標等の作成業務	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、 (平成31年度) 今後委託契約を行う場合、利害関係者や利益相反者等の範囲への追加・修正がないか検討。</p>			<p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p> <p>⑤について、 ・外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>		
130	教育改革の総合的推進に関する調査研究事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					<p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p>		
131	E B P Mをはじめとした統計改革推進に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)					<p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p> <p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
132	21世紀出生児縦断調査 (平成13年出生児)	委託	①有 (選定プロセス終了)	21世紀出生児縦断調査 (平成13年出生児)				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
133	専修学校と地域の連携深化による職業教育魅力発信力強化事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、(平成31年度) 質問等があった場合には公募説明会参加者に共有する旨、公募要領に記載する。 ⑤について、(平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。					
134	生涯学習施策に関する調査研究 (検定試験の第三者評価に関する調査研究)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 審査委員が利害関係者等となった場合は当該審査が出来ない旨を、審査委員に説明することとしたい。			③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
135	学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業 (障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究)	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業 (障害者の多様な学習活動を総合的に支援するための実践研究)	③について、(平成31年度) 審査委員が競争参加者の利害関係者となると考えられる場合 (所属団体からの申請や申請内容に審査委員が含まれている場合等) は、当該審査を行わないようにすること及び利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めることを依頼文書等に明文化する。	対応スミ		③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
136	学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業 (生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業 (生涯学習を通じた共生社会の実現に関する調査研究)	③について、(平成31年度) 審査委員が競争参加者の利害関係者となると考えられる場合 (所属団体からの申請や申請内容に審査委員が含まれている場合等) は、当該審査を行わないようにすること及び利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めることを依頼文書等に明文化する。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
137	専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業 (公募型)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑧について、 採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
138	専門学校生への効果的な経済的支援の在り方に関する実証研究事業 (一般競争入札型)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、(平成31年度) 質問があった場合には入札説明会参加者に共有する旨、入札説明書に記載する。 ②について、(平成31年度) 質問があった場合には入札説明会参加者に共有する旨、入札説明書に記載する。 ③について、(平成31年度) 審査基準に利害関係者の範囲、利害関係者の審査は排除される旨、入札説明書に記載する。 ⑤について、(平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する					
139	職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		⑤について、(平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。			①について、 公募要領等に審査方法・審査基準を公表していないので公表すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
140	専修学校グローバル化対応推進支援事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、 (平成31年度) 質問等があった場合には参加表明書提出者全員に共有する旨、公募要領に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。					
141	専修学校による地域産業中核的人材養成事業 (eラーニングの積極活用等による学び直し講座開設等)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、 (平成31年度) 質問等があった場合には公募説明会参加者に共有する旨、公募要領に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。					
142	専修学校による地域産業中核的人材養成事業 (産学連携手法 (専修学校版デュアル教育) の開発)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、 (平成31年度) 質問等があった場合には参加表明書提出者全員に共有する旨、公募要領に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。					
143	専修学校による地域産業中核的人材養成事業 (産学連携体制の構築)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、 (平成31年度) 質問等があった場合には公募説明会参加者に共有する旨、公募要領に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。					
144	専修学校による地域産業中核的人材養成事業 (学びのセーフティネット機能の充実強化)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、 (平成31年度) 質問等があった場合には参加表明書提出者全員に共有する旨、公募要領に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。					
145	専修学校による地域産業中核的人材養成事業 (地域課題解決実践カリキュラムの開発・実証)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、 (平成31年度) 質問等があった場合には公募説明会参加者に共有する旨、公募要領に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。					
146	専修学校による地域産業中核的人材養成事業 (Society 5.0等対応カリキュラムの開発・実証)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、 (平成31年度) 質問等があった場合には公募説明会参加者に共有する旨、公募要領に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査結果は秘密保持を担保する旨を審査基準に明記する。					
147	次世代の教育情報化推進事業 (情報活用能力の育成等のための実践的調査研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。					
148	次世代の教育情報化推進事業 (情報教育の推進等に関する調査研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。					
149	次世代の教育情報化推進事業 (小学校プログラミング教育推進のための指導事例の創出等に関する調査研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 審査委員に依頼する際に利害関係者の範囲について文書にて事前に説明する。			⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
150	次世代の教育情報化推進事業 (高等学校情報科担当教員の指導力向上に関する調査研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。			⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
151	ICT活用した教育推進自治体応援事業 (ICT活用教育アドバイザー派遣事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 現状は、こちらから審査委員に確認するようにしているが、審査委員からも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう求める。			③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
152	ICT活用した教育推進自治体応援事業 (情報活用能力調査の今後の在り方に関する調査研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。					
153	情報モラル教育推進事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。					
154	生涯学習施策に関する調査研究 (現代的課題に対応した効果的な情報モラル教材に関する調査研究)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。					
155	次世代学校支援モデル構築事業	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 利害関係者、利益相反者等に該当する場合などの対応について、審査委員により明確に伝えるなど、公平性・公正性の担保に向けて、一層の改善に努める。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
156	次世代学校支援モデル構築事業に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 利害関係者、利益相反者等に該当する場合などの対応について、審査委員により明確に伝えるなど、公平性・公正性の担保に向けて、一層の改善に努める。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
157	統合型校務支援システム導入実証研究事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	統合型校務支援システム導入実証研究事業	③について、 (平成31年度) 利害関係者、利益相反者等に該当する場合などの対応について、審査委員により明確に伝えるなど、公平性・公正性の担保に向けて、一層の改善に努める。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
158	遠隔教育システム導入実証研究事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	遠隔教育システム導入実証研究事業	③について、 (平成31年度) 利害関係者、利益相反者等に該当する場合などの対応について、審査委員により明確に伝えるなど、公平性・公正性の担保に向けて、一層の改善に努める。	対応スミ		③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
159	学校ICT環境整備促進実証研究事業に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校ICT環境整備促進実証研究事業に関する調査研究	③について、 (平成31年度) 利害関係者、利益相反者等に該当する場合などの対応について、審査委員により明確に伝えるなど、公平性・公正性の担保に向けて、一層の改善に努める。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
160	学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究 (学校を核とした地域力強化プラン) (①地域学校協働活動の効果的推進のための普及啓発方法等についての実証的な調査研究)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、(平成31年度) 審査委員について、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。</p> <p>④について、(平成31年度) 企画競争に参加する者に必要な資格として、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保や、外部からの働きかけがあった場合に申し出るよう審査委員に対する注意喚起について、審査要領等に記載する。</p> <p>⑦について、(平成31年度) ・審査基準に「選定委員会が議論を経て、審査を行い」と記載されているが、平成30年度は議論を行わず、選定委員の採点結果のみに基づいて採択しており、実情とあっていなかった為、審査基準の記載について検討する。 ・採点項目の「申請内容等に関する評価について (75点満点)」の中の「(5) その他、提案内容に特筆すべき内容が含まれている等、評価できる項目があるか。」の配点が25点である。「審査を行うにあたっての補足説明資料」に評価判断の例を記載しているが、恣意的な評価が入る余地があるため、項目を細分化するなどを検討する。</p>			<p>①について、公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。</p> <p>⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>		
161	学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究 (学校を核とした地域力強化プラン) (②地域学校協働活動の質の向上、人材の育成等についての実証的な調査研究)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、(平成31年度) 審査委員について、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。</p> <p>④について、(平成31年度) 企画競争に参加する者に必要な資格として、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保や、外部からの働きかけがあった場合に申し出るよう審査委員に対する注意喚起について、審査要領等に記載する。</p> <p>⑦について、(平成31年度) ・審査基準に「選定委員会が議論を経て、審査を行い」と記載されているが、平成30年度は議論を行わず、選定委員の採点結果のみに基づいて採択しており、実情とあっていなかった為、審査基準の記載について検討する。 ・採点項目の「申請内容等に関する評価について (75点満点)」の中の「(5) その他、提案内容に特筆すべき内容が含まれている等、評価できる項目があるか。」の配点が25点である。「審査を行うにあたっての補足説明資料」に評価判断の例を記載しているが、恣意的な評価が入る余地があるため、項目を細分化するなどを検討する。</p>			<p>①について、公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。</p> <p>⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>		
162	学校と地域の新たな協働体制の構築のための実証研究 (学校を核とした地域力強化プラン) (③地域学校協働活動の推進に係る調査研究・コンサルタント派遣事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>③について、(平成31年度) 審査委員について、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。</p> <p>④について、(平成31年度) 企画競争に参加する者に必要な資格として、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保や、外部からの働きかけがあった場合に申し出るよう審査委員に対する注意喚起について、審査要領等に記載する。</p> <p>⑦について、(平成31年度) ・審査基準に「選定委員会が議論を経て、審査を行い」と記載されているが、平成30年度は議論を行わず、選定委員の採点結果のみに基づいて採択しており、実情とあっていなかった為、審査基準の記載について検討する。 ・採点項目の「申請内容等に関する評価について (75点満点)」の中の「(5) その他、提案内容に特筆すべき内容が含まれている等、評価できる項目があるか。」の配点が25点である。「審査を行うにあたっての補足説明資料」に評価判断の例を記載しているが、恣意的な評価が入る余地があるため、項目を細分化するなどを検討する。</p>			<p>①について、公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。</p> <p>⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
163	社会教育主事講習	委託	①有 (選定プロセス終了)	社会教育主事講習	③について、 (平成31年度) 審査委員について、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する予定。 ④について、 (平成31年度) 企画競争に参加する者に必要な資格として、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する予定。 ⑤について、 (平成31年度) 審査委員に対して秘密保持の担保や外部からの働きかけがあった場合に申し出るよう審査委員に対する注意喚起を行うとともに、採点の集計結果を審査委員全員で情報共有する予定。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ④について、 趣旨を誤った表現となっていることから、「審査委員について利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。」と改めるべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。	対応スミ	
164	新任図書館長研修	委託	①有 (選定プロセス終了)	新任図書館長研修	③について、 (平成31年度) 審査委員について、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する予定。 ④について、 (平成31年度) 企画競争に参加する者に必要な資格として、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する予定。 ⑤について、 (平成31年度) 審査委員に対して秘密保持の担保や外部からの働きかけがあった場合に申し出るよう審査委員に対する注意喚起を行うとともに、採点の集計結果を審査委員全員で情報共有する予定。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ④について、 趣旨を誤った表現となっていることから、「審査委員について利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。」と改めるべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。	対応スミ	
165	図書館地区別研修	委託	①有 (選定プロセス終了)	図書館地区別研修	③について、 (平成31年度) 審査委員について、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する予定。 ④について、 (平成31年度) 企画競争に参加する者に必要な資格として、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する予定。 ⑤について、 (平成31年度) 審査委員に対して秘密保持の担保や外部からの働きかけがあった場合に申し出るよう審査委員に対する注意喚起を行うとともに、採点の集計結果を審査委員全員で情報共有する予定。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ④について、 趣旨を誤った表現となっていることから、「審査委員について利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、排除することを公募要領等に記載する。」と改めるべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。	対応スミ	
166	地域の教育資源を活用した教育格差解消プラン	委託	④無 (前年度限りの事業)							
167	地域の教育資源を活用した教育格差解消プラン (追加公募)	委託	④無 (前年度限りの事業)							
168	社会教育を推進するための指導者の資質向上等事業 (学びによる地域課題解決、高齢者の社会参画等の促進)	委託	④無 (前年度限りの事業)		②について、 (平成30年度) 締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないよう公募要領等に記載する予定である。 ③について、 (平成30年度) 「委託事業における事業選定に当たっての公平性・透明性確保について (通知)」 (28文科会第1244号平成29年3月23日) に則って、利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、公募要領等に記載し実施する予定である。					

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
169	博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有することとする。また、そのことを公募要領等に記載することとする。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めることとする。 ⑤について、 (平成31年度) ・審査委員に対して評点だけでなく、コメントの記載を求めることとする。 ・評点の集計結果は複数人でチェックすることとする。 ・審査委員に対して秘密保持を担保するようにする			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
170	博物館ネットワークによる未来へのレガシー継承・発信事業における「持続的な博物館経営に関する調査」	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有することとする。また、そのことを公募要領等に記載することとする。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めることとする。			③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
171	子供の読書活動の推進等に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	子供の読書活動の推進等に関する調査研究	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に明記する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
172	子供の読書活動の推進「読書コミュニティ拠点形成支援」	委託	①有 (選定プロセス終了)	子供の読書活動の推進「発達段階に応じた読書活動の推進」	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に明記する。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
173	全国的な普及啓発の実施	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に明記する。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
174	青少年の体験活動に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に明記する。					
175	自己肯定感向上プロジェクト	委託	①有 (選定プロセス終了)	自己肯定感向上プロジェクト	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に明記する。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
176	青少年国際交流推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	青少年国際交流推進事業	③について、 (平成30年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に明記する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
177	地域における青少年の国際交流推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	地域における青少年の国際交流推進事業	③について、(平成30年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に明記する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
178	有害情報から子供を守るための推進体制の構築	委託	①有 (選定プロセス終了)	有害情報から子供を守るための推進体制の構築	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に記載する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
179	青少年教育施設等を活用したネット依存対策推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	青少年教育施設等を活用したネット依存対策推進事業	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に記載する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
180	依存症予防教育推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	依存症予防教育推進事業	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲について、審査要領等に記載する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑦について、採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめるべき。	対応スミ	
181	平成30年度「専修学校における消費者教育に関する取組状況調査研究」	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 利害関係や利益相反等の範囲について、考えられるものを例示し、その他疑義があるものについて幅広く相談する様、審査委員に求める。 ④について、(平成31年度) 取組を継続するとともに、公募要領等に記載した利害関係者の判断基準について、申請団体ごとに委員から確認を求める。 ⑤について、(平成31年度) ・秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。					
182	平成30年度「連携・協働による消費者教育推進事業」における消費者教育推進のための実証的共同研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	「若年者の消費者教育の推進に関する集中強化プラン」における若年者の消費者教育推進のための実証的共同研究	①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっている旨、公募要領等に記載する。 ②について、(平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないようにしている旨、公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 利害関係や利益相反等の範囲について、考えられるものを例示し、その他疑義があるものについて幅広く相談する様、審査委員に求める。 ④について、(平成31年度) 取組を継続するとともに、公募要領等に記載した利害関係者の判断基準について、申請団体ごとに委員から確認を求める。 ⑤について、(平成31年度) ・秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。	対応スミ		③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
183	平成30年度「連携・協働による消費者教育推進事業」における消費者教育推進のための実証的共同研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	「若年者の消費者教育の推進に関する集中強化プラン」における若年者の消費者教育推進のための実証的共同研究	②について、(平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないようにしている旨、公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 利害関係や利益相反等の範囲について、考えられるものを例示し、その他疑義があるものについて幅広く相談する様、審査委員に求める。	対応スミ				

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
184	男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業 (研究協議会)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>①について、 (平成31年度) 平成31年度事業の公募にあたっては、特定の者からの質問について、他の応募予定者にも共有すべきものがあつた場合の共有方法について検討する。</p> <p>②について、 (平成31年度) 平成31年度事業の公募にあたっては、締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないことについて、公募要領等に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、そのことを審査要領等に記載することを検討。 ・親密な個人的関係や密接な師弟関係にある者まで排除し、そのことを審査要領等に記載することを検討。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めることを検討。</p> <p>④について、 (平成31年度) 該当があつた場合、所属している機関等を申請した案件の審査から除外する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) ・審査委員に対して秘密保持を担保するため、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあつた場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。</p>			<p>③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。</p> <p>⑤について、 ・外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p> <p>⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。</p>		
185	男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業 (調査研究)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>①について、 (平成31年度) 平成31年度事業の公告にあたっては、特定の者からの質問について (説明会以外で受けたもの)、他の応募予定者にも共有すべきものがあつた場合の共有方法について検討する (例えば、HPにQ&Aを掲載し随時更新する)。</p> <p>③について、 (平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、そのことを入札説明書等に記載することを検討。 ・親密な個人的関係や密接な師弟関係にある者まで排除し、そのことを入札説明書等に記載することを検討。 ・入札説明書等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めることを検討。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) ・審査委員に対して秘密保持を担保するため、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあつた場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。</p>			<p>③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。</p> <p>⑤について、 外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>		
186	男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業 (実証事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>①について、 (平成31年度) 平成31年度事業の公募にあたっては、特定の者からの質問について、他の応募予定者にも共有すべきものがあつた場合の共有方法について検討する。</p> <p>②について、 (平成31年度) 平成31年度事業の公募にあたっては、締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないことについて、公募要領等に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、そのことを審査要領等に記載することを検討。 ・親密な個人的関係や密接な師弟関係にある者まで排除し、そのことを審査要領等に記載することを検討。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求めることを検討。</p> <p>④について、 (平成31年度) 該当があつた場合、所属している機関等を申請した案件の審査から除外する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) ・審査委員に対して秘密保持を担保するため、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあつた場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。</p>			<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。</p> <p>⑤について、 外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。</p>		
187	地域政策等に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、 (平成30年度) 公募要領等に利害関係者等の範囲を記載するなど、明確にした上で、審査委員に共有する。</p> <p>⑤について、 (平成30年度) 公平性・公正性を確保するため、評価表にコメント欄を設けるなどの改善を検討する。外部からの働きかけ等について注意喚起を行うとともに審査要領等に記載する。</p>			<p>⑦について、 採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめるべき。</p>		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
188	平成30年度「社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究」	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	2019年度「社会人の学びの情報アクセス改善に向けた実践研究」	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定め、審査委員に共有するほか、そのことを公募要領等に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。 ⑥について、 (平成31年度) 審査終了後に差支えない範囲で審査委員の公表を予定している。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
189	平成30年度「生涯学習施策に関する調査研究～グローバルな人材育成に資する国際協働型プロジェクト学習の効果に関する調査研究～」	委託	④無 (前年度限りの事業)		①について、 (平成31年度) 企画競争の準備・手続を効率的に行うことで、新規の者が参入しやすいように公募期間により余裕を持たせる。 ③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を成文化し、公募要領に明記する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけに対する注意喚起、審査にかかる秘密の保持等について、審査委員向けのガイドライン (審査要領) を策定する。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
190	高等学校における次世代の学習ニーズを踏まえた指導の充実事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成30年度、平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定め、審査委員に共有し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
191	広域通信制高等学校における教育の質の確保に関する研究開発事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	広域通信制高等学校における教育の質の確保に関する研究開発事業	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定め、審査委員に共有し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
192	福島県教育復興推進事業 (双葉郡中高一貫校等における事業)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	福島県教育復興推進事業	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定め、審査委員に共有し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
193	少子化・人口減少社会に対応した活力ある学校教育推進事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなるよう、また、締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないことを公募要領等に明記する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう注意喚起するとともに審査要領等に明記する。			⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
194	夜間中学の設置推進・充実事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、 (平成30年度、平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなるよう、また、締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないことを公募要領等に明記する。 ⑤について、 (平成30年度、平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう注意喚起するとともに審査要領等に明記する。			⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
195	福島県教育復興推進事業 (避難地域12市町村の小中学校等における事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	福島県教育復興推進事業 (避難地域12市町村の小中学校等における事業)	②について、締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないことを公募要領等に明記する。 ⑤について、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう注意喚起するとともに審査要領等に明記する。	対応スミ		⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
196	地方教育行政推進事業 (地方教育行政の経営に関する調査研究)	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
197	「高校生のための学びの基礎診断」に関する試行調査・研究事業 (typeA)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ⑤について、(平成31年度) 審査委員の秘密保持について、審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起するとともに審査要領等に記載する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。		
198	「高校生のための学びの基礎診断」に関する試行調査・研究事業の結果分析事業 (typeB)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ⑤について、(平成31年度) 審査委員の秘密保持について、審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起するとともに審査要領等に記載する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。		
199	教育政策形成に関する実証研究事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
200	福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 (福島イノベーション・コースト構想の核となるトップリーダーの育成事業)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 (福島イノベーション・コースト構想の核となるトップリーダーの育成事業)	③について、(平成31年度) 利害関係者の定義を審査委員に共有すること、また、そのことを公募要領等に記載することに取り組む。 ⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起することに取り組む。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
201	福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 (未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 (未来へはばたけ！イノベーション人材育成事業)	③について、(平成31年度) 利害関係者の定義を審査委員に共有すること、また、そのことを公募要領等に記載することに取り組む。 ⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起することに取り組む。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
202	理数補助教材編集委託事業 (平成30年度) (随意契約事前確認公募)	委託	④無 (前年度限りの事業)							

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
203	学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究 (小・中学校)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究 (小・中学校)	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、当該案件の審査から除外する旨、要領等に明記する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
204	実社会との接点を重視した課題解決型プログラムに係る実践研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、当該案件の審査から除外する旨、要領等に明記する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
205	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、当該案件の審査から除外する旨を要領等に記載することを検討する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
206	考え、議論する道徳への転換へ向けた先進事例等の収集・分析・普及事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	考え、議論する道徳への転換へ向けた先進事例等の収集・分析・普及事業	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、当該案件の審査から除外する旨、要領等への記載を検討する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
207	高等学校における総合的な学習の時間の抜本的改善・充実事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領等に明記すべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
208	放射線に関する教職員セミナー及び出前授業実施事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) 「審査委員が所属する機関等が競争参加者である場合」、「提案内容に審査委員が含まれる場合」といった利害関係者の定義を審査委員に共有することなど、改善に向けた検討を行う。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
209	「主体的・対話的で深い学びの推進事業」における「学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究 (高等学校)」	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	「主体的・対話的で深い学びの推進事業」における「学力定着に課題を抱える学校の重点的・包括的支援に関する実践研究 (高等学校)」	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。 ④について、(平成31年度) 申請者との利害関係がないかを確認する項目を審査用紙に設け、利害関係にあった場合にはその案件の審査から除外する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
210	教育研究開発事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	教育研究開発事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	一部未対応	②について、調査・検証チームからの指摘前に平成31年度事業の希望調査をはじめたことから今年度はは未対応となったものであるため、翌年度事業から対応する。 ⑦については対応スミ

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
211	教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進事業	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	教科等の本質的な学びを踏まえた主体的・対話的で深い学び (アクティブ・ラーニング) の視点からの学習・指導方法の改善の推進				①について、公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
212	国際バカロレアのカリキュラムに関する調査研究事業	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	国際バカロレアのカリキュラムに関する調査研究事業				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
213	学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館の利活用に係る調査研究事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校図書館ガイドラインを踏まえた学校図書館の利活用に係る調査研究事業	①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、(平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
214	学校図書館司書教諭講習	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校図書館司書教諭講習	①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、(平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
215	小・中学校等における起業体験推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	小・中学校等における起業体験推進事業	①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、(平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 事前に審査委員に利害関係に関する説明を行い、利害関係者として審査を行わないよう注意喚起する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
216	キャリア・パスポート (仮称) 普及・定着事業	委託	④無 (前年度限りの事業)		①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、(平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 事前に審査委員に利害関係に関する説明を行い、利害関係者として審査を行わないよう注意喚起する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
217	小学校における進路指導の在り方に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	小学校における進路指導の在り方に関する調査研究	①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、(平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 事前に審査委員に利害関係に関する説明を行い、利害関係者として審査を行わないよう注意喚起する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
218	自殺予防に対する効果的な取組に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	自殺予防に対する効果的な取組に関する調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
219	自殺予防に対する効果的な取組に関する調査研究 (追加公募)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	自殺予防に対する効果的な取組に関する調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
220	脳科学・精神医学・心理学等に関する研究と学校教育の連携による調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	脳科学・精神医学・心理学等に関する研究と学校教育の連携による調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
221	学校教育における長期宿泊体験活動の導入促進に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校教育における長期宿泊体験活動の導入促進に関する調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
222	いじめ防止等対策のためのスクールロイヤー活用に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	いじめ防止等対策のためのスクールロイヤー活用に関する調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
223	いじめ防止等対策のためのスクールロイヤー活用に関する調査研究 (追加公募)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	いじめ防止等対策のためのスクールロイヤー活用に関する調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
224	スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
225	スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究 (追加募集)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの常勤化に向けた調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載する。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
226	学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
227	学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究 (追加公募)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
228	学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究 (追加公募2回目)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	学校以外の場における教育機会の確保等に関する調査研究	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
229	人権教育研究推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	人権教育研究推進事業	①について、 (平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなることを、今後募集する際に、公募時の公募要領等に記載することとする。 ②について、 (平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いとなっていることを、今後公募時に公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
230	幼児教育の推進体制構築事業	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 利害関係者に該当する場合は審査委員自らの申し出の依頼及び公募要領等への記載を行う。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
231	幼児期の教育内容等深化・充実調査研究 (幼稚園における2歳児の受入れの実施に関する調査研究を含む)	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
232	幼稚園の人材確保支援事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	幼稚園の人材確保支援事業	②について、(平成31年度) 企画提案書の内容に不備があると応募団体が申し出た場合には、提出期限の範囲内のみの修正を認める旨を公募要領等に明記する。 ③について、(平成31年度) ・利害関係者・利害相反者等の範囲を明示した上で、審査委員に共有し、該当する場合には申告書を提出してもらうようにする。 ・利害関係者・利害相反者等については、審査・評価に加わらない旨を公募要領等に明記する。 ⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ⑥について、審査の透明性担保の関係から、契約終了後に審査委員について公表を行う。	対応スミ				
233	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究開発事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (特別支援教育の視点を踏まえた学校経営構築研究開発事業)	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
234	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (発達障害の可能性のある児童生徒等に対する教科指導法研究事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (発達障害の可能性のある児童生徒等に対する教科指導法研究事業)	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
235	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (発達障害に関する通級による指導担当教員等専門性充実事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (発達障害に関する通級による指導担当教員等専門性充実事業)	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
236	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (発達障害の可能性のある児童生徒の多様な特性に応じた合理的配慮研究事業)	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
237	発達障害の可能性のある児童生徒等に対する支援事業 (放課後等福祉連携支援事業)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
238	学習上の支援機器等教材活用促進事業 (学習上の支援機器等教材活用評価研究事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	学習上の支援機器等教材活用促進事業 (学習上の支援機器等教材活用評価研究事業)	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
239	特別支援教育に関する実践研究充実事業 (次期学習指導要領に向けた実践研究)	委託	①有 (選定プロセス終了)	特別支援教育に関する実践研究充実事業 (新学習指導要領に向けた実践研究)	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (庁費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
240	特別支援教育に関する実践研究充実事業 (知的障害に対する通級による指導についての実践研究)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	特別支援教育に関する実践研究充実事業 (知的障害に対する通級による指導についての実践研究)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合に自ら審査委員から申し出を求めているので、申し出るよう求めるべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
241	特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 (民間団体等を活用した特別支援教育の理解啓発)	委託	①有 (選定プロセス終了)	特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 (民間団体等を活用した特別支援教育の理解啓発)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
242	特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 (手話等のコミュニケーションツールを活用した教職員等の資質向上に関する講習会)	委託	①有 (選定プロセス終了)	特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 (手話等のコミュニケーションツールを活用した教職員等の資質向上に関する講習会)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
243	特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 (指導者養成講習会)	委託	①有 (選定プロセス終了)	特別支援教育に関する教職員等の資質向上事業 (指導者養成講習会)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
244	学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解 (心のバリアフリー) の推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校における交流及び共同学習を通じた障害者理解 (心のバリアフリー) の推進事業	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		③について、 審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
245	入院児童生徒等への教育保障体制整備事業	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
246	学校における医療的ケア実施体制構築事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校における医療的ケア実施体制構築事業	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめているので、取りまとめるべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
247	外部専門機関と連携した英語指導力向上事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、 (平成31年度) 提出締切後に申請書類の提出や修正を受付ないことを公募要領等に明記する。 ③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。			⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
248	小学校英語教育推進リーダー中央研修	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 今後同種の事業を行う場合には、利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。			②について、 差し替えを認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
249	中・高等学校英語教育推進リーダー中央研修等実施事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 今後同種の事業を行う場合には、利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。			②について、 差し替えを認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
250	小学校英語教科化に向けた専門性向上のための英語指導力向上事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、 (平成31年度) 提出締切後に申請書類の提出や修正を受付ないことを公募要領等に明記する。 ③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。			⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
251	グローバル化に対応した外国語教育推進事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、 (平成31年度) 提出締切後に申請書類の提出や修正を受付ないことを公募要領等に明記する。 ③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。			⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
252	民間機関を活用した小学校英語の効果的な指導法等の開発及び成果普及事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。			②について、 差し替えを認めないことについても、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
253	福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 (グローバル人材を育む小中連携英語教育推進)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 今後同種の事業を行う場合には、利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべきである。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
254	スーパーグローバルハイスクール事業の成果検証	委託	①有 (選定プロセス終了)	スーパーグローバルハイスクール事業の成果検証				②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 5名未満の審査委員で審査が行われているので、5名上の審査委員で審査を行うべき。	対応スミ	
255	帰国教師ネットワーク構築事業	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	帰国教師ネットワーク構築事業	③について、 (平成31年度) 平成31年度以降の公募は行わない予定。仮に公募を行う場合は、利害関係者や利益相反者等について明文化する。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめているので、取りまとめるべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
256	平成30年度「日本語指導が必要な児童生徒等の教育支援基盤整備事業」	委託	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度「日本語指導が必要な児童生徒等の教育支援基盤整備事業」	③について、所属している機関等を申請した案件の審査から除外している。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
257	デジタル教科書の効果的な活用の在り方等に係る調査研究事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	デジタル教科書の効果・影響等に関する実証研究事業	③について、(平成31年度)・委員が利害関係者となった場合は当該審査をすることができない旨を事前に説明したり、・利害関係者に該当する可能性がある場合は自ら申し出るよう周知するなど、公募要領等に記載することも含めて検討したい。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめているので、取りまとめるべき。	対応スミ	
258	教科書デジタルデータ提供に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	教科書デジタルデータ提供に関する調査研究	③について、(平成31年度)審査委員が利害関係者である場合は当該審査をすることができないことや、利害関係者に該当する可能性がある場合は自ら申し出ることについて、事前に周知するなどについて検討したい。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、契約情報をホームページで公表していないので、公表すべき。	対応スミ	
259	特別支援学校 (視覚障害等) 高等部における教科書デジタルデータ活用に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	特別支援学校 (視覚障害等) 高等部における教科書デジタルデータ活用に関する調査研究	③について、(平成31年度)審査委員が利害関係者である場合は当該審査をすることができないことや、利害関係者に該当する可能性がある場合は自ら申し出ることについて、事前に周知するなどについて検討したい。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
260	音声教材の効率的な製作方法に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	音声教材の効率的な製作方法に関する調査研究	③について、(平成31年度)審査委員が利害関係者である場合は当該審査をすることができないことや、利害関係者に該当する可能性がある場合は自ら申し出ることについて、事前に周知するなどについて検討したい。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
261	がん教育総合支援事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	がん教育総合支援事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
262	薬物乱用防止教育等推進事業 (薬物乱用防止教育等支援事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	薬物乱用防止教育等推進事業 (薬物乱用防止教育等支援事業)				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
263	児童生徒の心と体を守るための参考資料の作成 (依存症に関する指導参考資料の作成)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
264	学校保健総合支援事業 (学校における現代的な健康課題解決支援事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校保健総合支援事業 (学校における現代的な健康課題解決支援事業)				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
265	学校保健総合支援事業 (養護教諭育成支援事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校保健総合支援事業 (養護教諭育成支援事業)				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
266	学校安全教室推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校安全教室推進事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
267	学校安全総合支援事業 (学校安全推進体制の構築)	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校安全総合支援事業 (学校安全推進体制の構築)				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
268	学校安全総合支援事業 (学校安全資料作成のための調査研究事業)	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
269	社会的課題に対応するための学校給食の活用	委託	①有 (選定プロセス終了)	社会的課題に対応するための学校給食の活用				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
270	学校給食費徴収・管理業務の改善・充実に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
271	つながる食育推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	つながる食育推進事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
272	「つながる食育推進事業」に関する調査研究	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	「つながる食育推進事業」に関する調査研究				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
273	①免許外教科担任の縮小に必要な教科等に関する講習の開発・実施 ②小中学校免許状併有のための講習の開発・実施 ③更新講習等にも活用可能な講習の開発・実施	委託	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度現職教員の新たな免許状取得を促進する講習等開発事業				⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
274	教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 (①円滑な入職のための取組の推進)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
275	教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 (②特色ある研修改革取組の推進)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
276	教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 (③研修の単位化・専修免許状取得プログラムの開発)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
277	教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 (④民間教育事業者との連携による教員の資質能力向上)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
278	教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 (⑤「教師の日」等の機を捉えた教職の魅力向上)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
279	教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 (⑥新たな教育課題に対応する科目を必修科目として位置づけ、効果的に実施する取組の推進)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
280	教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 (⑦教職課程の質の保証・向上を図る取組の推進)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
281	教員の養成・採用・研修の一体的改革推進事業 (⑧教科教育コアカリキュラムの研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
282	教員免許制度の高度化推進事業 (①教員免許更新制の高度化に関する調査研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
283	教員免許制度の高度化推進事業 (②免許管理の在り方に関する調査研究)	委託	④無 (前年度限りの事業)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
284	全国学力・学習状況調査を実施するための委託事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者に該当する者の範囲を委嘱時に明示することを検討する。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
285	学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	学力調査を活用した専門的な課題分析に関する調査研究	①について、(平成31年度) 応募が少なく1着応札になってきている。より多く応募してもらえようようにHP等の掲載もさらに広めていけるように努める。 ③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を明確に定めていけるように努める。 ④について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を明確にした上で厳正な審査を行うようにする。	対応スミ		③について 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
286	学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校運営協議会の設置・拡充に向けた調査研究事業				①について、公募要領等に審査方法・審査基準を公表していないので公表すべき。 ②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、契約情報をホームページで公表していないので、公表すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
287	学校現場における業務改善加速事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校現場における業務改善加速事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
288	学校の総合マネジメント力の強化に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
289	先導的大学改革推進委託事業 獣医学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
290	先導的大学改革推進委託事業 大学における学修成果の分析・活用等に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)		⑤について、(平成30年度) 審査委員に文部科学省に在職していた者が含まれていたことが判明したため、次の事業の審査から審査委員として依頼しないこととする。 (平成31年度) 審査委員に文部科学省に在職していた者等が含まれないようにし、より公平性・公正性が確保されるよう努めていく。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
291	先導的大学改革推進委託事業 法科大学院における法学未修者への教育手法に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
292	先導的大学改革推進委託事業 重度障害学生に対する支援のあり方に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)		⑤について、(平成30年度) 審査委員に文部科学省に在職していた者が含まれていたことが判明したため、次の事業の審査から審査委員として依頼しないこととする。 (平成31年度) 審査委員に文部科学省に在職していた者等が含まれないようにし、より公平性・公正性が確保されるよう努めていく。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
293	先導的大学改革推進委託事業 大学教育改革の実態の把握及び分析等に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ④について、担当課の認識不足があったため事務局から事業担当課に速やかに対処するよう求めたところであるが、今後、同様の事態が生じないよう周知徹底を図るべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
294	先導的大学改革推進委託事業 大学入学者選抜改革における試験の複数回実施の実現に向けての調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ④について、担当課の認識不足があったため事務局から事業担当課に速やかに対処するよう求めたところであるが、今後、同様の事態が生じないよう周知徹底を図るべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
295	先導的大学改革推進委託事業 国立大学法人等における人事・給与マネジメント制度の在り方に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ④について、担当課の認識不足があったため事務局から事業担当課に速やかに対処するよう求めたところであるが、今後、同様の事態が生じないよう周知徹底を図るべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
296	日本留学海外拠点連携推進事業 (海外拠点)	委託	①有 (選定プロセス終了)	日本留学海外拠点連携推進事業 (海外拠点)						

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
297	日本留学海外拠点連携推進事業 (日本本部)	委託	①有 (選定プロセス終了)	日本留学海外拠点連携推進事業 (日本本部)						
298	日本人の海外留学促進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度日本人の海外留学促進事業						
299	日本食品標準成分表における脂肪酸分析方法の妥当性検証調査	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
300	日本食品標準成分表の改訂に向けた食品成分情報取得強化のための調査	委託	①有 (選定プロセス終了)	日本食品標準成分表の改訂に向けた食品成分情報取得強化のための調査				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
301	国立研究開発法人に求められる機能に関する調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					①について、十分な公募期間を確保していないので十分な期間を確保すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
302	研究開発評価の在り方に係る特筆課題等への取組の状況調査	委託	①有 (選定プロセス終了)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
303	大学等におけるフルタイム換算データに関する調査	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
304	海外の最新科学技術動向に係る新興・融合領域に関する調査分析	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
305	科学技術イノベーション政策に携わる行政官の政策企画・立案能力向上のための人材育成プログラム開発に係る調査研究	委託	①有 (選定プロセス終了)	「エビデンスに基づく政策形成を目指した取組に係る知見の比較分析と共有の在り方に関する調査」	③について、(平成30年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定めることについて検討する。	対応スミ		③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
306	諸外国の研究公正の推進に関する調査・分析業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
307	サイエンス・インカレに関する広報等事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	サイエンス・インカレに関する広報等事業				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
308	新たな共用システム導入支援プログラム	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	新たな共用システム導入支援プログラム				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、契約情報をホームページで公表していないので、公表すべき。		
309	光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	光・量子飛躍フラッグシッププログラム(Q-LEAP)				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
310	量子科学技術イノベーション創出基盤調査分析業務	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	量子科学技術イノベーション創出基盤調査分析業務				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (庁費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
311	コア技術等からインパクトのある事業化を果たすための事業化戦略のあり方に関する調査	委託	①有 (選定プロセス終了)	コア技術等からインパクトのある事業化を果たすための事業化戦略のあり方に関する調査				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
312	コア技術等に基づくインパクトのある成功モデル創出に向けた施策のあり方に関する調査	委託	①有 (選定プロセス終了)	コア技術等に基づくインパクトのある成功モデル創出に向けた施策のあり方に関する調査				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
313	コア技術等からインパクトのある事業化を果たすための知的財産戦略のあり方に関する調査	委託	①有 (選定プロセス終了)	コア技術等からインパクトのある事業化を果たすための知的財産戦略のあり方に関する調査				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
314	大学等におけるアントレプレナーシップ醸成に関する調査分析業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	大学等におけるアントレプレナーシップ醸成に関する調査分析業務				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
315	オープンイノベーション機軸事業執行の高度化に資する提案内容の分析等に関する調査	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
316	産学官連携リスクマネジメントモデル事業 (組織的な産学官マネジメントについて)	委託	④無 (前年度限りの事業)					①について、十分な公募期間を確保していないので十分な期間を確保すべき。 ②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
317	地域イノベーション戦略支援プログラム終了評価等に関する調査	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
318	オープンイノベーション機軸の効果的な支援に係る調査	委託	①有 (選定プロセス終了)	オープンイノベーション機軸の効果的な支援に係る調査				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
319	地域の特徴ある技術を核としたイノベーションの創出に関する調査	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめべき。		
320	リサーチ・アドミニストレーターの認定制度構築に向けた認定基準等の作成に資する調査・分析	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
321	組織対組織による産学連携の強化に資するクロスアポイントメントの実施・促進に係る調査	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
322	研究者の交流に関する調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
323	地域イノベーションに関する自己点検指標に係る調査	委託	④無 (前年度限りの事業)		⑤について、(平成30年度) 技術審査員の外部有識者には文部科学省から他機関への出向者や文部科学省等の過去の在職者を委嘱しないこととする。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
324	産業の研究開発に関する基盤的なデータ整備	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		⑤について、(平成30年度) 技術審査員の外部有識者には文部科学省から他機関への出向者や文部科学省等の過去の在職者を委嘱しないこととする。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
325	「全国イノベーション調査」2018年調査に係る調査報告収集業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ④について、担当課の認識不足があったため事務局から事業担当課に速やかに対処するよう求めたところであるが、今後、同様の事態が生じないよう周知徹底を図るべき。		
326	政府の研究開発資金配分と科学技術政策に関するデータ・情報基盤の整備	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		⑤について、(平成30年度) 技術審査員の外部有識者には文部科学省から他機関への出向者や文部科学省等の過去の在職者を委嘱しないこととする。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
327	次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトの総合推進及び調査分析	委託	①有 (選定プロセス終了)	次世代火山研究・人材育成総合プロジェクトの総合推進及び調査分析				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
328	長周期地震動ハザードマップ作成支援事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
329	海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋情報把握技術開発	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	海洋資源利用促進技術開発プログラム 海洋情報把握技術開発				⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
330	気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第1作業部会に関する国内外の研究動向の調査等	委託	①有 (選定プロセス終了)	気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第1作業部会に関する国内外の研究動向の調査等						
331	第15回地球観測に関する政府間会合本会合等開催委託業務	委託	④無 (前年度限りの事業)							
332	省エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発(高周波デバイス・システム領域)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	省エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発(高周波デバイス・システム領域)				⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
333	原子力平和利用確保調査(諸外国における原子力の平和利用に関する状況の調査)	委託	①有 (選定プロセス終了)	原子力平和利用確保調査(諸外国における原子力の平和利用に関する状況の調査)				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
334	放射線利用技術等国際交流(専門家交流)	委託	①有 (選定プロセス終了)	放射線利用技術等国際交流(専門家交流)				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
335	地球観測技術等調査委託事業(宇宙航空科学技術推進委託費)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
336	地球観測技術等調査委託事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
337	原子力システム研究開発(課題管理)	委託	①有 (選定プロセス終了)	原子力システム研究開発(課題管理)				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
338	「原子力立地地域における広聴・広報」及び「高速増殖炉もんじゅに関する広聴(新聞広報)」	委託	①有 (選定プロセス終了)	つるが国際シンポジウムの実施				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
339	「原子力システム研究開発(安全基盤技術研究開発)」及び「原子力システム研究開発(放射性廃棄物減容・有害度低減技術研究開発)」	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
340	原子力研究・人材育成基盤支援事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
341	事業実施支援業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
342	経済的損失の分析に係るモデル構築に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 利益相反者等の範囲を定めることを検討			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
343	諸外国の原子力損害賠償制度に関する調査研究	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 利益相反者等の範囲を定めることを検討			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
344	原子力損害賠償紛争審査会の現地視察等に係る賠償等基盤データの基礎調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) 利益相反者等の範囲について、明文化することを検討する。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
345	学校における体育活動での事故防止対策推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校における体育活動での事故防止対策推進事業	③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。 ⑥について、(平成31年度) 長期間審査委員が継続しないよう検討を行う。 ⑦について、(平成31年度) 審査委員のコメントについて審査結果とともに通知する予定である。	対応スミ		⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
346	学校における体育・スポーツ資質向上等推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	学校における体育・スポーツ資質向上等推進事業	③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。 ⑥について、(平成31年度) 長期間審査委員が継続しないよう検討を行う。 ⑦について、(平成31年度) 審査委員のコメントについて審査結果とともに通知する予定である。	対応スミ		⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
347	武道等指導充実・資質向上支援事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	武道等指導充実・資質向上支援事業	③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。 ⑥について、(平成31年度) 長期間審査委員が継続しないよう検討を行う。	対応スミ		⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
348	武道等指導充実・資質向上支援事業 (追加公募)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。 ⑥について、(平成31年度) 長期間審査委員が継続しないよう検討を行う。			⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
349	運動部活動改革プラン	委託	①有 (選定プロセス終了)	運動部活動改革プラン	③について、 (平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。 ⑥について、 (平成31年度) 長期間審査委員が継続しないよう検討を行う。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答を全ての参加者に周知すべき。	対応スミ	
350	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (調査の実施・集計)	委託	①有 (選定プロセス終了)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (調査の実施・集計)	③について、 (平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。 ⑥について、 (平成31年度) 長期間審査委員が継続しないよう検討を行う。	対応スミ				
351	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (体力向上に関する研究)	委託	①有 (選定プロセス終了)	全国体力・運動能力、運動習慣等調査 (体力向上に関する研究)	③について、 (平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。 ⑥について、 (平成31年度) 長期間審査委員が継続しないよう検討を行う。	対応スミ				
352	スポーツ活動支援事業 (総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ活動支援事業 (総合型クラブの質的充実に向けた支援推進事業)	①について、 (平成31年度) 公募説明会になるべく多くの者が参加できる方策を検討する。 ②について、 (平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正することはできないこととしているが、そのことを公募要領等に記載する。 ③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲の明確化を検討する。 ④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらおう、審査依頼状等に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。 ⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。	対応スミ		⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 ・採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめているので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
353	スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・ビジネスパーソン向け国民運動 (運動・スポーツ習慣づくり)	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト (ビジネスパーソン国民運動)	①について、 (平成31年度) 公募説明会になるべく多くの者が参加できる方策を検討する。 ②について、 (平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正することはできないこととしているが、そのことを公募要領等に記載する。 ③について、 (平成31年度) 今後、利害関係者や利益相反者等の範囲の明確化を検討する。 ④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらおう、審査依頼状等に記載することを検討する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載することを検討する。 ⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。	対応スミ		⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 ・採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめているので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
354	スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト・ビジネスパーソン向け国民運動 (スポーツ推進企業等の認定による普及啓発事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト (スポーツ推進事業の認定等による普及啓発事業)	<p>①について、(平成31年度) 公募説明会になるべく多くの者が参加できる方策を検討する。</p> <p>②について、(平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正することはできないこととしているが、そのことを公募要領等に記載する。</p> <p>③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲の明確化を検討する。</p> <p>④について、(平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらうよう、審査依頼状等に記載することを検討する。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、(平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>	対応スミ		<p>⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p> <p>⑦について、採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。</p>	対応スミ	
355	スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト (運動プログラムを活用した健康寿命延伸事業)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>①について、(平成31年度) 公募説明会になるべく多くの者が参加できる方策を検討する。</p> <p>②について、(平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正することはできないこととしているが、そのことを公募要領等に記載する。</p> <p>③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。</p> <p>④について、(平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらうよう、審査依頼状等に記載する。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、(平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>					
356	スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト (新たなアプローチ開発)	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ人口拡大に向けた官民連携プロジェクト (スポーツ参加促進に向けた新たなアプローチ)	<p>①について、(平成31年度) 公募説明会になるべく多くの者が参加できる方策を検討する。</p> <p>②について、(平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正することはできないこととしているが、そのことを公募要領等に記載する。</p> <p>③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。</p> <p>④について、(平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらうよう、審査依頼状等に記載する。</p> <p>⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、(平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>	対応スミ		<p>⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p> <p>⑦について、採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。</p>	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
357	子供の運動習慣アップ支援事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	子供の運動習慣アップ支援事業	<p>③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にするよう検討する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 今後、除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば自己申告してもらうよう、あらかじめ審査依頼状に記載する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>	対応スミ		<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p> <p>⑦について、 ・採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめているので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。</p>	対応スミ	
358	女性スポーツ推進事業 (女性のスポーツ参加促進事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>①について、 (平成31年度) 公募説明会になるべく多くの者が参加できる方策を検討する。</p> <p>②について、 (平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正することはできないこととしているが、そのことを公募要領等に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらうよう、審査依頼状等に記載することを検討する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>			<p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p> <p>⑦について、 ・採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめているので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。</p>		
359	障害者スポーツ推進プロジェクト (地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	障害者スポーツ推進プロジェクト (地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)	<p>③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらうよう、審査依頼状等に記載することを検討する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、 (平成31年度) 公共時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>	対応スミ		<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>	対応スミ	
360	障害者スポーツ推進プロジェクト (障害者のスポーツ施設利用及びスポーツ参加の課題等の調査研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらうよう、審査依頼状等に記載することを検討する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>					

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
361	障害者スポーツ推進プロジェクト (障害者スポーツ団体の連携及び体制整備への支援事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	障害者スポーツ推進プロジェクト (障害者スポーツ団体の連携及び体制整備への支援事業)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。 ④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらおう、審査依頼状等に記載することを検討する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。 ⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
362	Specialプロジェクト2020 (Specialプロジェクト2020体制整備事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	Specialプロジェクト2020 (Specialプロジェクト2020体制整備事業)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。 ④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらおう、審査依頼状等に記載することを検討する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。 ⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
363	Specialプロジェクト2020 (特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	Specialプロジェクト2020 (特別支援学校等を活用した地域における障害者スポーツの拠点づくり事業)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。 ④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらおう、審査依頼状等に記載することを検討する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。 ⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
364	Specialプロジェクト2020 (特別支援学校を対象とした全国的なスポーツ・文化大会開催事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	Specialプロジェクト2020 (特別支援学校を対象とした全国的なスポーツ・文化大会開催事業)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確化する。 ④について、 (平成31年度) 除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば申告してもらおう、審査依頼状等に記載することを検討する。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。 ⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
365	スポーツ政策の基礎的調査及び広報活動の実施	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲の明確化について検討する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 今後、除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば自己申告してもらおう、あらかじめ審査依頼状に記載することを検討する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、 (平成31年度) 公表時期に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>			③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
366	スポーツの実施状況等に関する世論調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲の明確化について検討する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 今後、除外漏れを防ぐため、審査委員からも該当があれば自己申告してもらおう、あらかじめ審査依頼状に記載することを検討する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。</p> <p>⑥について、 (平成31年度) 公表時期等に配慮し、審査委員の公表について検討する。</p>			③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
367	ハイパフォーマンス・サポート事業 (随意契約事前確認公募)	委託	①有 (選定プロセス終了)	ハイパフォーマンス・サポート事業 (随意契約事前確認公募)						
368	女性アスリートの育成・支援プロジェクト (調査研究)	委託	①有 (選定プロセス終了)	女性アスリートの育成・支援プロジェクト (調査研究)	<p>③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) ・本調査や他の例を参考にし、専門員に対して秘密保持を担保する旨の規定を設置要領等に記載することを検討する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、専門員に対して注意喚起を徹底する。また、本調査や他の例を参考にし、そのことを設置要領等に記載することを検討する。</p>	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
369	女性アスリートの育成・支援プロジェクト (支援プログラム)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	女性アスリートの育成・支援プロジェクト (支援プログラム)	<p>③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。</p> <p>④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) ・本調査や他の例を参考にし、専門員に対して秘密保持を担保する旨の規定を設置要領等に記載することを検討する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、専門員に対して注意喚起を徹底する。また、本調査や他の例を参考にし、そのことを設置要領等に記載することを検討する。</p>			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
370	NTC競技別強化拠点施設活用事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、(平成31年度) 本調査結果等や他の例を参考にし、問合せや接触等について全てに対して一律に公平な取り扱いとする旨を公募要領等に記載することを検討する。</p> <p>③について、(平成31年度) 委員と利害関係がある施設を審査する場合においては、当該委員を除外して審査を行うものとするよう規定の変更を検討する。</p> <p>④について、(平成31年度) 選定委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。</p> <p>⑤について、(平成31年度) ・ 採点の集計結果を複数人でチェックするようプロセスを改善する。 ・ 本調査結果等や他の例を参考にし、選定委員に対して秘密保持を担保する旨の規定を設置要領等に記載することを検討する。 ・ 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、選定委員に対して注意喚起を徹底する。また、本調査結果等や他の例を参考にし、そのことを設置要領等に記載することを検討する。</p> <p>⑥について、(平成31年度) 本調査結果等や他の例を参考にし、公平性・公正性が担保されるよう、公表することを検討する。また、選定委員に関する情報管理について、設置要領等で規定することを検討する。</p> <p>⑦について、(平成31年度) 本調査結果等や他の例を参考にし、応募者に採否を通知する際に、採択理由やコメントなども通知することを検討する。</p>		<p>①について、公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p> <p>⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。</p>			
371	スポーツ国際展開基盤形成事業 (IF等役員ポスト獲得支援)	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ国際展開基盤形成事業 (IF等役員ポスト獲得支援)	<p>③について、(平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。</p> <p>④について、(平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。</p>	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
372	スポーツ国際展開基盤形成事業 (IF等事務局スタッフ派遣支援)	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ国際展開基盤形成事業 (IF等事務局スタッフ派遣支援)	<p>③について、(平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。</p> <p>④について、(平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。</p>	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
373	スポーツ国際展開基盤形成事業 (スポーツ国際政策推進基盤の形成【調査・研究】)	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ国際展開基盤形成事業 (スポーツ国際政策推進基盤の形成【調査・研究】)	<p>③について、(平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。</p> <p>④について、(平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。</p>	対応スミ				
374	スポーツ国際展開基盤形成事業 (スポーツ国際政策推進基盤の形成【プログラム開発A：人材育成プログラムの開発】)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>③について、(平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。</p> <p>④について、(平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。</p>			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
375	スポーツ国際展開基盤形成事業 (スポーツ国際政策推進基盤の形成【プログラム開発B：スポーツ国際政策に関する先進事例の研究と国際ネットワーク開発】)	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ国際展開基盤形成事業 (スポーツ国際政策推進基盤の形成【プログラム開発B：スポーツ国際政策に関する先進事例の研究と国際ネットワーク開発】)	<p>③について、(平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。</p> <p>④について、(平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。</p>	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
376	スポーツ国際展開基盤形成事業 (スポーツ国際政策推進基盤の形成【プログラム開発C:スポーツ及びスポーツ産業の国際展開に係るネットワーク構築】)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。 ④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
377	スポーツ国際展開基盤形成事業 (スポーツ国際政策推進基盤の形成【政府間会合の開催】)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。 ④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
378	ドーピング防止教育研修事業 (随意契約事前確認公募)	委託	①有 (選定プロセス終了)	ドーピング防止教育研修事業 (随意契約事前確認公募)						
379	ドーピング検査技術研究開発事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。 ④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。 ⑦について、 (平成31年度) 同点の場合の取り扱いについて公募要領に記載することを検討する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
380	パラリンピック参加国・地域拡大支援事業	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	パラリンピック参加国・地域拡大支援事業	③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。 ④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。 ⑦について、 (平成31年度) 同点の場合の取り扱いについて公募要領に記載することを検討する。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
381	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 (教育地域拠点)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。 ④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
382	オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業 (パラリンピック教育普及啓発事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。 ④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。			①について、 公募内容に係る質問の回答を全ての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等に明文化すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
383	スポーツ・デジタルアーカイブ・ネットワーク構想事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ・デジタルアーカイブ・ネットワーク構想事業	③について、 (平成31年度) 本調査や他の例を参考にし、技術審査委員会の設置を定める設置要領等において利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にすることを検討する。 ④について、 (平成31年度) 技術審査委員会の設置を定める設置要領等において、審査から利害関係者や利益相反者等を排除する旨の規定を明確に記載することを検討する。また、本規定の内容を専門員へ周知徹底する。 ⑦について、 (平成31年度) 同点の場合の取扱いについて公募要領に記載することを検討する。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。	対応スミ	
384	ストック適正化における大規模施設の方向性検討	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ④について、 (平成30年度) 親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
385	体育・スポーツ施設に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成30年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。 ④について、 (平成30年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。					
386	スポーツ施設の個別施設策定支援事業	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成30年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。 ④について、 (平成30年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等に明文化すべき。		
387	大学横断的かつ競技横断的統括組織 (日本版NCAA) 創設事業 (日本版NCAAの組織の充実)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ④について、 (平成31年度) 親密な個人関係や密接な指定関係にある者まで排除する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保し、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう注意喚起する。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
388	大学横断的かつ競技横断的統括組織 (日本版NCAA) 創設事業 (大学スポーツ振興の推進)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ④について、 (平成31年度) 親密な個人関係や師弟関係にある者まで排除する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保し、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう注意喚起する。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
389	スポーツツーリズム・ムーブメント創出事業 (スポーツツーリズム需要拡大のための官民連携プロモーション)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ④について、 (平成31年度) 親密な個人関係や師弟関係にある者まで排除する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
390	スポーツツーリズム・ムーブメント創出事業 (スポーツ文化ツーリズム創造・発信事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>①について、 (平成30年度) 平成29年度が一者応募となったことから、平成30年度は応募期間を20日から22日に2日間延長している。 (平成31年度) 平成30年度の応募状況を踏まえて、公募期間や内容を見直して実施する。</p> <p>③、④について、 (平成30年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。</p> <p>⑤について (平成30年度) 提案内容の解釈に誤解が生じないよう、事業者から企画提案書のプレゼンテーションを実施している。</p>					
391	スポーツキャリアサポート戦略におけるスポーツキャリアサポート推進戦略	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p> <p>⑥について、 (平成31年度) 引き続き、応募者が接触できないよう、審査委員については非公表とし、情報管理を適切に行う。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 引き続き、審査委員会の審査結果通りに採択者を決定し、採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行うとともに、審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。</p>			⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
392	スポーツキャリアサポート戦略におけるエリートアカデミー生の学習等支援	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、上記取組により公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 引き続き、審査委員会の審査結果通りに採択者を決定し、採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行うとともに、審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。</p>			⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
393	スポーツキャリアサポート戦略におけるアスリートに対する調査及び教育プログラムの開発・実施	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 引き続き、審査委員会の審査結果通りに採択者を決定し、採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行うとともに、審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。</p>			⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
394	スポーツキャリアサポート戦略におけるアスリートと企業等とのマッチング支援	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 引き続き、審査委員会の審査結果通りに採択者を決定し、採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行うとともに、審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。</p>			<p>⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。</p>		
395	スポーツキャリアサポート戦略におけるアスリートに対する支援者等からの資金拠出	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 引き続き、審査委員会の審査結果通りに採択者を決定し、採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行うとともに、審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。</p>			<p>⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。</p>		
396	スポーツ仲裁活動推進事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 引き続き、審査委員会の審査結果通りに採択者を決定し、採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行うとともに、審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。</p>			<p>⑤について、 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。</p>		
397	スポーツ産業の成長促進事業 (①スタジアム・アリーナ改革推進事業 (協議会開催等))	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ産業の成長促進事業 (スタジアム・アリーナ改革推進事業 (協議会開催等))	<p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p>	対応スミ		<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>	対応スミ	
398	スポーツ産業の成長促進事業 (①スタジアム・アリーナ改革推進事業 (先進事例第1期))	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ産業の成長促進事業 (スタジアム・アリーナ改革推進事業 (先進事例形成支援))	<p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p>	対応スミ		<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。</p> <p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。</p>	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
399	スポーツ産業の成長促進事業 (①スタジアム・アリーナ改革推進事業 (先進事例第2期))	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。 ⑤について、 (平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意を喚起する。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけがあった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。 ⑦について、 ・採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
400	スポーツ産業の成長促進事業 (②地域の指導者を主体としたスポーツエコシステム構築推進事業 (協議会開催等))	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ産業の成長促進事業 (スポーツ指導スキルとスポーツ施設のシェアリングエコノミー導入促進事業)	③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 ・採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
401	スポーツ産業の成長促進事業 (②地域の指導者を主体としたスポーツエコシステム構築推進事業 (モデル形成支援))	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
402	スポーツ産業の成長促進事業 (③スポーツビジネスイノベーション推進事業 (スポーツオープンイノベーション))	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ産業の成長促進事業 (スポーツオープンイノベーション推進事業)	③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
403	スポーツ産業の成長促進事業 (③スポーツビジネスイノベーション推進事業 (スポーツ経営人材育成・活用))	委託	①有 (選定プロセス終了)	スポーツ産業の成長促進事業 (「スポーツ団体経営力強化推進事業(スポーツ経営人材育成・活用)」)	③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。 ⑦について、 (平成31年度) ・審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。 ・採択理由や不採択理由を採択結果とともに通知する。 ・審査委員の評価やコメントなどを通知する。	対応スミ		①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
404	スポーツ産業の成長促進事業 (③スポーツビジネスイノベーション推進事業 (中央競技団体 (NF) の経営基盤強化))	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 ・採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
405	スポーツ産業の成長促進事業 (④スポーツコンテンツ海外進出促進事業)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。			①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
406	女性スポーツ推進事業 (女性役員の育成事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、上記取組により公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 引き続き、審査委員会の審査結果通りに採択者を決定し、採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行うとともに、審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。</p>			<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。</p> <p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。</p>		
407	女性スポーツ推進事業 (女性コーチの育成事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、上記取組により公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p> <p>⑦について、 (平成31年度) 引き続き、審査委員会の審査結果通りに採択者を決定し、採択に至るまでのプロセスについて情報提供を行うとともに、審査委員会の議事録 (議事要旨) を作成するなど、選定の経緯が分かるようにする。</p>			<p>①について、 公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。</p> <p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。</p>		
408	大学横断的かつ競技横断的統括組織 (日本版NCAA) 創設事業 (映像配信・HP製作事業)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、 (平成30年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。</p> <p>④について、 (平成30年度) ・利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・親密な個人関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。</p>			<p>②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等に明文化すべき。</p>		
409	スポーツ界のコンプライアンス強化事業 (コンプライアンス教育の強化)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		<p>②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正を余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。</p> <p>③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。</p> <p>⑤について、 (平成31年度) 引き続き、上記取組により公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。</p>			<p>①について、 公募内容に係る質問の回答を全ての参加者に周知すべき。</p> <p>④について、 担当課の認識不足があったため事務局から事業担当課に速やかに対処するよう求めたところであるが、今後、同様の事態が生じないよう周知徹底を図るべき。</p> <p>⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。</p>		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
410	スポーツ界のコンプライアンス強化事業 (スポーツ団体に対するモニタリング体制の構築)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、 (平成31年度) 引き続き、全ての者に対して公平な取り扱いとし、締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないようにするとともに、そのことを公募要領に記載する。 ③について、 (平成31年度) 引き続き、当該事業に関して利益相反の可能性のある審査委員については除外するとともに、審査委員が利害関係の範囲及び利害関係者となった場合は当該申請の審査をすることができない旨を事前に説明し、利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。また、技術審査委員会設置要綱で利害関係者の範囲の明確化を行う。 ⑤について、 (平成31年度) 引き続き、上記取組により公平性・公正性を担保するとともに、外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。			①について、 公募内容に係る質問の回答を全ての参加者に周知すべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
411	平成30年度文化芸術創造都市推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度文化芸術創造都市推進事業	⑤について、 (平成31年度) ・採点の集計結果は複数人でチェックを行う。 ・審査依頼の際、外部の働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
412	「スポーツ文化ツーリズムアワード2018選考等事業」実施業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、公募要領等へ記載する。 ⑤について、 (平成30年度) ・採点の集計結果は複数人でチェックを行う。 ・審査依頼の際、外部の働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起を行う。 ⑥について、 (平成31年度) 審査委員の公表について、時期、方法等を含め、検討を行う。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等に明文化すべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので通知すべき。		
413	文化に関する世論調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
414	明治期の高等教育施設等に関する建築資料の調査・リスト化・展示制作業務	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。		
415	近現代建築資料 (建築家「吉田鉄郎」) の整理及び展示準備業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。					
416	平成30年度菊竹清訓建築資料デジタルアーカイブ構築に係る調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成30年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。					
417	情報化の進展に対応した著作権法制の検討のための調査研究 (私的録音に関する実態調査)	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点結果の情報が審査委員全員に対して十分に共有されていないので、審査委員全員で共有・審議すべき。		
418	コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業 (コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業 (コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業)	③について、 (平成30年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲については特に公募要領等に記載していないが、現在進めている審査委員の選定にあたっては、利害関係に注意し、また、委員への依頼の際には利益相反等の可能性について申し出るよう、求めることとしている。	対応スミ		③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
419	情報化の進展に対応した著作権法制の検討のための調査研究 (教科書等掲載補償金額の算出方法算定に向けての基礎調査)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、 (平成30年度) 利害関係者や利益相反者の範囲については特に公募要領等に記載していないが、現在進めている審査委員の選定にあたっては、利害関係に注意し、また、委員への依頼の際には利益相反等の可能性について申し出るよう、求めることとしている。			③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
420	著作権に関する普及啓発事業 (著作権教育コンテンツ作成業務 (映像で学ぶ著作権))	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
421	著作権に関する普及啓発事業 (著作権教育教材等の検証事業)	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
422	情報化の進展に対応した著作権法制の検討のための調査研究①	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
423	情報化の進展に対応した著作権法制の検討のための調査研究②	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
424	海賊版対策事業 (トレーニングセミナーの実施に係る業務)	委託	①有 (選定プロセス終了)	海賊版対策事業 (トレーニングセミナーの実施に係る業務)	②について、 (平成31年度) 締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を公募要領に明記する。 ③について、 (平成31年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委嘱時に委員に共有する。 ・審査時に、利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう審査要領等に明記する。 ④について、 (平成31年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委嘱時に委員に共有する。 ・審査時に、利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう審査要領等に明記する。 ⑤について、 (平成31年度) ・委員への委嘱状に、秘密保持の条項を明記する。 ・委員に対し、外部からの働きかけがあった場合の注意喚起を行う。	対応スミ	⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。	対応スミ		
425	海賊版対策事業 (侵害発生国とのネットワークを活用した著作権普及啓発事業)	委託	①有 (選定プロセス終了)	海賊版対策事業 (侵害発生国とのネットワークを活用した著作権普及啓発事業)	②について、 (平成31年度) 締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を公募要領に明記する。 ③について、 (平成31年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委嘱時に委員に共有する。 ・審査時に、利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう審査要領等に明記する。 ④について、 (平成31年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委嘱時に委員に共有する。 ・審査時に、利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう審査要領等に明記する。 ⑤について、 (平成31年度) ・委員への委嘱状に、秘密保持の条項を明記する。 ・委員に対し、外部からの働きかけがあった場合の注意喚起を行う。	対応スミ	⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。	対応スミ		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
426	海賊版対策事業(グローバルな著作権侵害への対応の強化事業「インターネット配信の著作権等による保護に関する諸外国調査」)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>③について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益相反の範囲を明確に定め、委嘱時に委員に共有する。 ・審査時に、利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう審査要領等に明記する。 <p>④について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益相反の範囲を明確に定め、委嘱時に委員に共有する。 ・審査時に、利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう審査要領等に明記する。 <p>⑤について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員への委嘱状に秘密保持の条項を明記する。 ・委員に対し、外部からの働きかけがあった場合の注意喚起を行う。 			<p>⑤について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。 		
427	海賊版対策事業(権利行使の支援事業「海外における我が国権利者による著作権侵害対策事例調査」)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を入札説明書に明記する。 <p>③について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益相反の範囲を明確に定め、委嘱時に委員に共有する。 ・審査時に、利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう審査要領等に明記する。 <p>④について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益相反の範囲を明確に定め、委嘱時に委員に共有する。 ・審査時に、利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう審査要領等に明記する。 <p>⑤について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員への委嘱状に、秘密保持の条項を明記する。 ・委員に対し、外部からの働きかけがあった場合の注意喚起を行う。 			<p>⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。</p>		
428	「バレエ等舞台芸術による若手芸術家国際文化交流事業」の実施業務	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を公募要領に明記する。 <p>③について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益相反の範囲を明確に定め、委員への委嘱状にその旨を明記し、委嘱を行う。 ・公募終了後、すべての企画提案者が決まった後に委員の委嘱を行う。 ・利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう委嘱状に明記する。 <p>⑤について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状に秘密保持の条項を明記する。 <p>⑦について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択理由及び不採択理由・評価者のコメントを評価点とともに提案者に通知する。 			<p>③について、審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。</p>		
429	「ジャポニスム2018松竹大歌舞伎公演事業」の実務業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					<p>①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。</p>		
430	東アジア文化都市有識者会議	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を公募要領に明記する。 <p>③について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利益相反の範囲を明確に定め、委員への委嘱状にその旨を明記し、委嘱を行う。 ・利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう委嘱状に明記する。 <p>⑤について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状に秘密保持の条項を明記する。 <p>⑦について、(平成31年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択理由及び不採択理由・評価者のコメントを評価点とともに提案者に通知する。 					
431	日・ASEAN友好協力45周年記念事業「日・ASEAN音楽祭」における日本文化発信事業の企画・運営業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					<p>①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。</p>		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
432	「日韓交流おまつり2018 in Tokyo」の企画・運営	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					①について、 本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
433	国際文化交流・協力推進事業 (「日本メキシコ外交関係樹立130周年記念メキシコ音楽公演・交流事業」の企画・運営実務業務)	委託	④無 (前年度限りの事業)		②について、 (平成31年度) 締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を公募要領に明記する。 ③について、 (平成30年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委員への委嘱状にその旨を明記し、委嘱を行う。 ・公募終了後、すべての企画提案者が決まった後に委員の委嘱を行う。 ・利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう委嘱状に明記する。 ⑤について、 (平成30年度) 委嘱状に秘密保持の条項を明記する。			③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
434	東アジア芸術家・文化人等交流・協力事業	委託	④無 (前年度限りの事業)		②について、 (平成30年度) 締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を公募要領に明記する。 ③について、 (平成30年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委員への委嘱状にその旨を明記し、委嘱を行う。 ・公募終了後、すべての企画提案者が決まった後に委員の委嘱を行う。 ・利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう委嘱状に明記する。 ⑤について、 (平成30年度) 委嘱状に秘密保持の条項を明記する。 ⑦について、 (平成30年度) 採択理由及び不採択理由・評価者のコメントを評価点とともに提案者に通知する。			③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
435	東アジア文化都市中韓交流事業 (京都市)	委託	④無 (前年度限りの事業)					①について、 本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
436	東アジア文化都市中韓交流事業 (金沢市)	委託	①有 (選定プロセス終了)	東アジア文化都市中韓交流事業 (金沢市)				①について、 本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。	一部未対応	・事業の専門性の関係上、他の競争者の想定が困難であったため、随意契約事前確認公募により事業者の選定を行ったが、随意契約事前確認公募の運用要件を満たしていないため、今後競争性のある調達方式に改善する。
437	日中韓芸術祭「東アジアの調べ」オーケストラコンサートにおける公募実務業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、 (平成31年度) 締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を公募要領に明記する。 ③について、 (平成31年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委員への委嘱状にその旨を明記し、委嘱を行う。 ・利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう委嘱状に明記する。 ⑤について、 (平成31年度) 委嘱状に秘密保持の条項を明記する。 ⑦について、 (平成31年度) 採択理由及び不採択理由・評価者のコメントを評価点とともに提案者に通知する。					
438	平成30年度ASEAN文化交流・協力事業 (アニメーション・映画分野) 運営業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
439	平成30年度東アジア文化都市中韓交流事業 (豊島区)	委託	①有 (選定プロセス終了)	東アジア文化都市中韓交流事業 (豊島区)	<p>②について、 (平成30年度) 締切後の申請書類の受付や修正・差換えを認めない旨を公募要領に明記する。</p> <p>③について、 (平成30年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委員への委嘱状にその旨を明記し、委嘱を行う。 ・公募終了後、すべての企画提案者が決まった後に委員の委嘱を行う。 ・利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう委嘱状に明記する。</p> <p>⑤について、 (平成30年度) 委嘱状に秘密保持の条項を明記する。</p> <p>⑦について、 (平成30年度) 採択理由及び不採択理由・評価者のコメントを評価点とともに提案者に通知する。</p>	対応スミ		③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
440	国際文化交流・協力推進事業 (東アジア文化都市2019豊島オープンイベント等企画・運営業務)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、 (平成30年度) 締切後の申請書類の受付や修正・差換えを認めない旨を公募要領に明記する。</p> <p>③について、 (平成30年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委員への委嘱状にその旨を明記し、委嘱を行う。 ・公募終了後、すべての企画提案者が決まった後に委員の委嘱を行う。 ・利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう委嘱状に明記する。</p> <p>⑤について、 (平成30年度) 委嘱状に秘密保持の条項を明記する。</p> <p>⑦について、 (平成30年度) 採択理由及び不採択理由・評価者のコメントを評価点とともに提案者に通知する。</p>					
441	芸術家・文化人等による文化発信推進事業 (文化庁文化交流使派遣事業の運営業務)	委託	④無 (前年度限りの事業)		<p>②について、 (平成30年度) 締切後の申請書類の受付や修正・差換えを認めない旨を公募要領に明記する。</p> <p>③について、 (平成30年度) ・利益相反の範囲を明確に定め、委員への委嘱状にその旨を明記し、委嘱を行う。 ・公募終了後、すべての企画提案者が決まった後に委員の委嘱を行う。 ・利益相反の可能性のある委員については、申し出るよう委嘱状に明記する。</p> <p>⑤について、 (平成30年度) 委嘱状に秘密保持の条項を明記する。</p> <p>⑦について、 (平成30年度) 採択理由及び不採択理由・評価者のコメントを評価点とともに提案者に通知する。</p>			③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
442	平成30年度「文化行政調査研究」文化芸術の経済的・社会的影響の数値評価に向けた調査研究事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	令和元年度「文化行政調査研究」文化芸術の経済的・社会的影響の数値評価に向けた調査研究事業				③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
443	平成30年度「文化行政調査研究」諸外国の文化政策等の比較調査研究事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
444	文化庁創立50周年記念式典の企画・運営等	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
445	伝統文化親子教室事業 (平成30年度「伝統文化親子教室事業」委託業務)	委託	①有 (選定プロセス終了)	伝統文化親子教室事業 (平成31年度「伝統文化親子教室事業」委託業務)	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
446	伝統文化親子教室事業 (事業実施団体の公募)	委託	①有 (選定プロセス終了)	伝統文化親子教室事業 (事業実施団体の公募)	①について、 (平成31年度) 審査基準を事前に公表するようにする。 ③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを募集案内に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
447	平成30年度伝統文化親子教室事業 (地域展開型) の公募 (第1次)	委託	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度伝統文化親子教室事業 (地域展開型) の公募 (第1次)	②について、 (平成31年度) 提出期限後の企画提案書の差し替え及び再提出を認めない旨、公募要領に記載予定 ③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
448	平成30年度伝統文化親子教室事業 (地域展開型) の公募 (第2次)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。 ⑥について、 (平成31年度) 審査委員について、採択後ホームページ上で公表する。					
449	平成30年度「伝統工芸用具・原材料に関する調査事業」委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	令和元年度「伝統工芸用具・原材料に関する調査事業」委託業務	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。	対応スミ		⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
450	平成30年度「文化芸術創造拠点形成事業」委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度「文化芸術創造拠点形成事業」委託業務	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、そのことを公募要領等に記載する。	対応スミ		②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑦について、 不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
451	平成30年度「文化芸術創造拠点形成事業」調査委託業務 (仮称)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
452	平成30年度「文化芸術創造拠点形成事業」地域版アーツカウンシル連携のためのセミナー委託業務 (仮称)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
453	文化庁メディア芸術祭地方展の企画・運営	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者に該当する場合は審査委員自ら申し出を求める旨、依頼文書にも明記する。			②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
454	文化庁メディア芸術祭地方展の企画・運営	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、 (平成31年度) 利害関係者に該当する場合は審査委員自ら申し出を求める旨、依頼文書にも明記する。			③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
455	生活文化調査研究事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
456	平成30年度メディア芸術連携促進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度メディア芸術連携促進事業	②について、 (平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないようにしているが、そのことを公募要領等に記載する。 ③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ⑤について、 (平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。	対応スミ				

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
457	メディア芸術カレントコンテンツの運営	委託	①有 (選定プロセス終了)	メディア芸術カレントコンテンツの運営						
458	メディア芸術所蔵情報等整備事業「メディア芸術データベースの機能拡充に関する調査・改修作業	委託	①有 (選定プロセス終了)	メディア芸術所蔵情報等整備事業「メディア芸術データベースの機能拡充に関する調査・改修作業	②について、(平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないようにしているが、そのことを公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。 ⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。	対応スミ		②について、入札説明書に「一旦受領した書類の差し替え及び再提出は認めない」という規定を明記している。	対応スミ	
459	第22回文化庁メディア芸術祭 (コンテスト) の企画・運営	委託	①有 (選定プロセス終了)	第23回文化庁メディア芸術祭 (コンテスト) の企画・運営	③について、(平成31年度) 現状の取り組みを継続し、利害関係者や利益相反者等の可能性がある場合に審査委員への確認を徹底する。 ⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。	対応スミ		③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
460	第21回文化庁メディア芸術祭 (展覧会) の企画・運営	委託	①有 (選定プロセス終了)	第22回文化庁メディア芸術祭 (展覧会) の企画・運営	③について、(平成31年度) 現状の取り組みを継続し、利害関係者や利益相反者等の可能性がある場合に審査委員への確認を徹底する。 ⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。	対応スミ		③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
461	平成30年度メディア芸術クリエイター育成支援事業の企画・運営	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
462	平成30年度メディア芸術海外展開事業の企画・運営	委託	①有 (選定プロセス終了)	メディア芸術海外展開事業の企画・運営	⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
463	アーカイブ中核拠点形成モデル事業 (撮影所)	委託	①有 (選定プロセス終了)	アーカイブ中核拠点形成モデル事業 (撮影所等における映画関連の日フィルム資料)	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
464	アーカイブ中核拠点形成モデル事業 (美術館)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	アーカイブ中核拠点形成モデル事業 (美術館)	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。					
465	文化関係資料アーカイブ調査研究 (写真)	委託	①有 (選定プロセス終了)	文化関係資料アーカイブ調査研究 (写真フィルムの保存・活用に関する研究)	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
466	文化関係資料アーカイブ調査研究 (脚本)	委託	①有 (選定プロセス終了)	文化関係資料アーカイブ調査研究 (放送番組の脚本・台本のアーカイブ構築に関する研究)	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
467	若手アニメーター等人材育成事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	若手アニメーター等人材育成事業	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
468	海外映画祭出品等支援事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	海外映画祭出品等支援事業	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
469	映画スタッフ育成事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	映画スタッフ育成事業	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		①について、十分な公募期間を確保していないので十分な期間を確保すべき。 ②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
470	短編映画製作支援による若手映画作家育成事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	短編映画製作支援による若手映画作家育成事業	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
471	日本映画情報システム情報収集等業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	日本映画情報システム情報収集等業務	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
472	全国ロケーションデータベースの利用促進等事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	全国ロケーションデータベースの利用促進等事業	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
473	アジアにおける日本映画特集事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	アジアにおける日本映画特集事業	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
474	日中映画人交流事業	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。			③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明すべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出をするよう求めるべき。		
475	文化庁映画週間	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	文化庁映画週間	③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
476	日本映画情報システムの運用管理業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	日本映画情報システムの運用管理業務						
477	平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度戦略的芸術文化創造推進事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
478	平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
479	平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「実演芸術連携交流事業」	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「実演芸術連携交流事業」				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
480	平成30年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業(2次募集)「芸術分野(主に美術)の基礎情報となる年鑑作成や調査研究等」	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
481	平成30年度現代日本文学翻訳・普及事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度現代日本文学翻訳・普及事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
482	平成30年度(第73回)文化庁芸術祭 主催公演	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度(第74回)文化庁芸術祭 主催公演				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
483	平成30年度アート市場活性化事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
484	ハイレベル交響楽団の中国公演事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
485	我が国を代表するバレエ団のロシア公演事業	委託	④無 (前年度限りの事業)			③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反等の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。		③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
486	平成30年度現代「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」運営支援業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度現代「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」運営支援業務				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
487	平成30年度「国際芸術交流支援事業」運営業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
488	平成30年度現代「新進芸術家海外研修制度」運営業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度現代「新進芸術家海外研修制度」運営業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
489	平成30年度現代「大学における文化芸術推進事業」運営業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度現代「大学における文化芸術推進事業」運営業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
490	平成30年度「(第73回)文化庁芸術祭」運営等業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度「(第74回)文化庁芸術祭」運営等業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
491	平成30年度「戦略的芸術文化創造推進事業」運営業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度「戦略的芸術文化創造推進事業」運営業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
492	平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業 (共生社会実現のための芸術文化活動の推進)	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
493	平成30年度「ここから展示会の実施」事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	令和元年度「ここから展示会の実施」事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
494	「障害者文化芸術活動推進有識者会議」資料収集等業務	委託	④無 (前年度限りの事業)			③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反等の範囲を、公募要領等に記載する ・親密な個人的関係や密接な師弟関係にあるものまで排除し、そのことを公募要領等に記載することを検討する				
495	平成30年度劇場・音楽堂等基盤整備事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度劇場・音楽堂等基盤整備事業		③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示す。	未対応	業務の引継ぎが不十分だったことにより、未対応となったため、次年度の公募の際に審査要領に明文化を行うとともに、利害関係者の範囲を審査委員に示すこととする。	未対応	業務の引継ぎが不十分だったことにより、未対応となったため、次年度の公募の際に審査要領に明文化を行うとともに、利害関係者の範囲を審査委員に示すこととする。
496	平成30年度我が国の現代美術の海外発信事業「我が国の現代美術の戦略的海外発信に向けた関連資料の整理」	委託	④無 (前年度限りの事業)			③について、(平成31年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示す。		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。 ・契約情報をホームページで公表していないので、公表すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
497	H30国民文化祭「食文化シンポジウム」委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	国民文化祭・にいがた2019に係る情報発信及び誘客に関する事業委託業務	①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱い等を明確にし公募要領等に記載していく ②について、(平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いをしているが、公募要領等に記載していく。 ③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の基準を作成し、審査委員にも共有する ④について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の基準を作成し、除外するようにする。 ⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけ等に対して、審査委員に対して注意喚起を行う。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。	対応スミ	
498	「文化庁活動の在り方に関する有識者会議」委託業務	委託	④無 (前年度限りの事業)		①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱い等を明確にし公募要領等に記載していく ②について、(平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いをしているが、公募要領等に記載していく。 ③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の基準を作成し、審査委員にも共有する ④について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の基準を作成し、除外するようにする。 ⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけ等に対して、審査委員に対して注意喚起を行う。			①について、十分な公募期間を確保していないので十分な期間を確保すべき。 ②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ⑤について、 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
499	文化芸術による子供の育成事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	子供育成総合事業	①について、(平成31年度) 現在の受託団体以外にも業務管理等が可能だと思われる団体等に対し、公募の案内を行う。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
500	平成30年度「公演情報等の発信基盤の構築に向けた調査・検証事業」	委託	①有 (選定プロセス終了)	令和元年度「公演情報等の発信基盤の構築に向けた調査・検証事業」	③について、(平成31年度) 利益相反の基準を示し、可能性がある委員については申し出るよう委嘱状にも明記することを検討。	対応スミ		③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
501	平成30年度「Culture NIPPON シンポジウム」の企画・実施等業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) 利害関係者、利益相反の基準を示し、可能性がある委員については申し出るよう委嘱状にも明記することを検討。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
502	平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業 (二次募集)	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 利益相反の基準を示し、可能性がある委員については申し出るよう委嘱状にも明記することを検討。			①について、公募内容に係る質問の回答を全ての参加者に周知すべき。 ③について、 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
503	平成30年度フランス共和国における日本のマンガ・アニメ・ゲーム・特撮分野における展覧会の開催に係る企画・運営業務	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 現状の取り組みを継続し、利害関係者や利益相反者等の可能性がある場合に審査委員への確認を徹底する。 ④について、(平成31年度) 現状の取り組みを継続し、利害関係者や利益相反者等の可能性がある場合に審査委員に確認し、審査から除外する。 ⑤について、(平成31年度) 審査委員に対して秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
504	平成30年度「国際文化芸術発信拠点形成事業」委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	平成31年度「国際文化芸術発信拠点形成事業」委託業務						
505	国際文化芸術発信拠点形成事業に係るシンポジウム	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
506	平成30年度条約難民及び第三国定住難民に対する日本語教育事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度条約難民及び第三国定住難民に対する日本語教育事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
507	平成30年度日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
508	平成30年度日本語教育総合調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					①について、公募内容に係る質問の回答はすべての参加者に周知すべき。 ③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
509	平成30年度日本語教育実態調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
510	平成30年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域実践プログラム	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域実践プログラム				⑤について、 ・外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
511	「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業～平成30年度地域日本語教育スタートアッププログラム事業～管理委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業～2019年度地域日本語教育スタートアッププログラム事業～管理委託業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
512	「生活者としての外国人」のための日本語教室空白地域解消推進事業ICTを活用した「生活者としての外国人」のための日本語学習コンテンツの開発・提供に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
513	平成30年度アイヌ語のアーカイブ作成支援事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度アイヌ語のアーカイブ作成支援事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
514	平成30年度アイヌ語アーカイブ作成推進のための人材育成事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度アイヌ語アーカイブ作成推進のための人材育成事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
515	平成30年度 アイヌ語アナログ音声資料のデジタル化	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
516	平成30年度被災地における方言の活性化支援事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
517	平成30年度危機的な状況にある言語・方言のアーカイブ化を想定した実地調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
518	平成30年度「国語に関する世論調査」	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
519	宗教法人等の運営に係る調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者、親密な関係にある者までの排除を公募要領等に記載することを検討する。			③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
520	近現代建造物緊急重点調査事業 (土木)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。			③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。		
521	近現代建造物緊急重点調査事業 (建築)	委託	①有 (選定プロセス終了)	近現代建造物緊急重点調査事業 (建築)	③について、(平成31年度) ・利害関係者や利益相反者等の範囲を定め、審査委員に共有する。 ・公募要領等に例示した以外にも利益相反の可能性がある場合には申し出るよう審査委員に求める。	対応スミ		③について、 審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。	対応スミ	

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
522	NPO等による文化財建造物の自立型管理活用推進事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、(平成31年度) 企画提案書の差し替えや再提出を認めないことを、公募要領等に明示する。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
523	模写模造	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	模写模造 (建造物)				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
524	「ふるさと文化財の森システム推進事業」普及啓発事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
525	文化財建造物 (木造) 修理事業実態調査	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
526	次代の文化を創造する新進芸術家育成事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。 ⑦について、 ・採点集計表、審査委員の意見、採点経緯等を取りまとめていないので、取りまとめるべき。 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。 ・契約情報をホームページで公表していないので、公表すべき。		
527	日本スペイン外交関係樹立150周年スペイン歌舞伎公演事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
528	平成30年度伝統音楽普及促進事業	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
529	平成30年度無形文化財「わざ」の理解促進事業に係る工芸技術記録映画製作業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
530	平成30年度「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」に係る報告書作成業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
531	平成30年度「変容の危機にある無形の民俗文化財の記録作成の推進事業」に係る映像記録制作業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
532	工芸技術記録映画「経緯—北村武資のわざ—」製作業務 (平成30年度)	委託	④無 (前年度限りの事業)					①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
533	工芸技術記録映画「鍛金—大角幸枝のわざ—」製作業務 (平成30年度)	委託	④無 (前年度限りの事業)					①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
534	平成30年度選定保存技術公開事業開催運営業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
535	国立アイヌ民族博物館設立準備室支援業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	国立アイヌ民族博物館設立準備室支援業務		対応スミ		③について、審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
536	国立アイヌ民族博物館におけるアイヌ関係資料等管理システムの研究開発等業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者等の範囲を審査委員に共有する。 ・親密な個人的関係や密接な師弟関係にある者まで排除する。		
537	国立アイヌ民族博物館多言語音声ガイドシステム開発等業務	委託	④無 (前年度限りの事業)							
538	文化遺産オンラインの情報登録・多言語化推進のための基礎資料作成委託業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
539	情報提供館へ取材し紹介するコンテンツ作成	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
540	平成30年度文化遺産国際協力拠点交流事業実施委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度文化遺産国際協力拠点交流事業実施委託業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
541	平成30年度無形文化遺産保護パートナーシッププログラム実施委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	2019年度無形文化遺産保護パートナーシッププログラム実施委託業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
542	文化遺産国際協力コンソーシアム事業実施委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	文化遺産国際協力コンソーシアム事業実施委託業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
543	アジア太平洋地域世界遺産等文化財保護協力推進事業実施委託業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	アジア太平洋地域世界遺産等文化財保護協力推進事業実施委託業務				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
544	シルクロードに係るシンポジウム等実施委託業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
545	エクスアドルの博物館復興支援に係るシンポジウム等実施委託業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
546	平成30年度文化遺産保護国際貢献事業 (専門家交流) 実施委託業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
547	平成30年度日本古美術海外展開業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		②について、(平成31年度) 締切後に申請書類の受付や修正をする余地を残さないようにしているが、そのことを公募要領等に記載する。 ③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を定め、審査委員に共有する。また、そのことを公募要領等に記載する。 ⑤について、(平成31年度) ・審査委員に対して秘密保持を担保する。また、そのことを審査要領等に記載する。 ・外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起する。また、そのことを審査要領等に記載する。			⑤について、 ・外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。 ・採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
548	日本遺産プロモーション事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
549	天然記念物保護体制等の充実に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (庁費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
550	日本における水中遺跡保護体制の整備充実に関する調査研究事業	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
551	大規模震災における古墳の石室及び横穴墓等の被災状況調査の方法に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
552	世界遺産普及活用・推薦事業	委託	①有 (選定プロセス終了)	第43回世界遺産委員会審議調査研究事業				③について、 ・審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 ・審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ・利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
553	平成30年度スポーツ庁WEB広報誌サイトの運用等及び広報素材作成業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	平成31 (2019)年度スポーツ庁WEB広報誌サイトの運用等及び広報素材作成業務			対応スミ	③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にする。		
554	マイナンバーに対応した新高等学校等就学支援金事務処理システム構築業務の工程管理等支援業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にする。 ⑤について、 (平成30年度、平成31年度) より透明性や公平性・公正性を確保するよう委員の選定を見直す。		
555	国立信州高遠青少年自然の家職員宿舍防水・塗装改修工事	委託	④無 (前年度限りの事業)							
556	次期文部科学省行政情報システムに係る業務・システムの調査分析業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、 (平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の範囲を明確にする。 ⑤について、 (平成30年度、平成31年度) より透明性や公平性・公正性を確保するよう委員の選定を見直す。		
557	中央合同庁舎第7号館整備等事業終了に関する調査・検討業務	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
558	「新学習指導要領」に係る広報の企画立案及び実施業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
559	科学技術週間配布用理解増進資料の制作について	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
560	公立文教施設整備等都道府県事務費交付金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
561	国際連合大学本部施設玄関ロビー天井等耐震改修工事	その他 (庁費等)	④無 (前年度限りの事業)							
562	平成30年度TALIS2018ビデオスタディ研究分析	委託	④無 (前年度限りの事業)					①について、十分な公募期間を確保していないので十分な期間を確保すべき。 ⑤について、外部有識者のみで審査されていないので、外部有識者のみで審査すべき。		
563	スーパーサイエンスハイスクール	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)				③について、 (平成31年度) 次年度の委嘱時に利益相反の可能性がある場合の申し出を文書で求めることなどを検討。	②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
564	教育関係共同利用拠点	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
565	国費外国人留学生制度 (大使館推薦)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
566	国費外国人留学生制度 (延長申請)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
567	外国政府派遣留学生の予備教育等留学生受入促進事業 (マレーシア政府派遣留学生事業)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
568	中国政府奨学金留学生事業	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
569	国立大学における国際共同利用・共同研究拠点の新規認定	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	国立大学における国際共同利用・共同研究拠点の新規認定	②について、 (平成31年度) ※締切後の審査書類の受付や修正等は認めていないが、次回の公募を行う際には、その旨を公募要領にも明記する。(次回の公募時期は未定。) ⑥について、 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起し、また、そのことを審査要領等に記載する。					
570	国立大学における共同利用・共同研究拠点の新規認定	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	国立大学における共同利用・共同研究拠点の新規認定	①について、 ※次回の公募を行う際には、必要に応じてホームページ等で質問と回答を公表する。(次回の公募時期は未定) ②について、 ※締切後の審査書類の受付や修正等は認めていないが、次回の公募を行う際には、その旨を、公募要領にも明記する。(次回の公募時期は未定) ⑥について、 共同利用・共同研究拠点に関する作業部会は科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会の下に設置された作業部会であり、原則公開のため、外部から働きかけがあった場合には、申し出る旨の注意喚起を要項等に明記する。					
571	文化庁創立50周年記念式典(仮称)会場借り上げ 一式	その他 (行費等)	④無 (前年度限りの事業)					①について、 本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
572	平成30年度新進芸術家海外研修制度 (長期)	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	令和元年度新進芸術家海外研修制度 (長期)				①について、 公募要領等に審査方法・審査基準を公表していないので公表すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、 採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	一部未対応	②⑤については対応済み ①③について調査・検証チームからの指摘前に平成31年度事業の公募をはじめたことから今年度は未対応となったものであるため翌年度事業から対応する。
573	平成30年度新進芸術家海外研修制度 (短期 前期・後期)	その他 (行費等)	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					①について、 公募要領等に審査方法・審査基準を公表していないので公表すべき。 ②について、 差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、 利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
574	第29回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演企画・運営業務	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	「第30回全国高等学校総合文化祭優秀校東京公演」の運営業務	①について、(平成31年度) 接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱い等を明確にし公募要領等に記載していく ②について、(平成31年度) 問合せや接触等について全ての者に対して一律に公平な取り扱いをしているが、公募要領等に記載していく。 ③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の基準を作成し、審査委員にも共有する ④について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者等の基準を作成し、除外するようにする。 ⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけ等に対して、審査委員に対して注意喚起を行う。 ⑥について、(平成31年度) 応募者が接触できないよう情報管理、公表時期に配慮していく。	対応スミ		②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、審査委員が利害関係者となった場合には当該審査に参加できない旨を事前に説明していないので、事前に説明しておくべき。 審査委員が利害関係者となった場合に審査委員自ら申し出ることを審査要領等に明記すべき。 ⑤について、申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。	対応スミ	
575	工芸技術記録映画「民芸陶器(縄文象嵌)―島岡達三のわざ―」の日本語版DVD及び英語版DVD作成業務	その他 (行費等)	④無 (前年度限りの事業)					①について、公募内容に係る質問の回答を全ての参加者に周知すべき。 ②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
576	工芸技術記録映画「談谷村花織―與那嶺貞のわざ―」の日本語版DVD及び英語版DVD作成業務	その他 (行費等)	④無 (前年度限りの事業)					①について、公募内容に係る質問の回答を全ての参加者に周知すべき。 ②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
577	文化財管理台帳システム保守・文化財補助金システム保守及び文化財関連データ作成業務	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	文化財管理台帳システム保守・文化財補助金システム保守及び文化財関連データ作成業務						
578	「国指定等文化財等データベース」ホスティングサービスによる運用保守業務	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	「国指定等文化財等データベース」ホスティングサービスによる運用保守業務						
579	文化遺産オンラインのデータ管理・システム運用管理及び機能改修等業務	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	文化遺産オンラインのデータ管理・システム運用管理及び機能改修等業務						
580	国指定等文化財DBを文化遺産OLへ取込	その他 (行費等)	④無 (前年度限りの事業)							
581	国宝・重要文化財の遺産英語解説文の収集及び文化遺産オンラインへの掲載要望	その他 (行費等)	④無 (前年度限りの事業)							
582	公立館目録電子化	その他 (行費等)	④無 (前年度限りの事業)							
583	国宝高松塚古墳壁画保存修理作業	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	国宝高松塚古墳壁画保存修理作業				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。	一部未対応	・事業の専門性の関係上、他の競争者の想定が困難であったため、随意契約事前確認公募により事業者の選定を行ったが、随意契約事前確認公募の運用要件を満たしていないため、今後競争性のある調達方式に改善する。

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
584	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する調査等業務	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する調査等業務				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。	一部未対応	・事業の専門性の関係上、他の競争者の想定が困難であったため、随意契約事前確認公募により事業者の選定を行ったが、随意契約事前確認公募の運用要件を満たしていないため、今後競争性のある調達方式に改善する。
585	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する研究等業務	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	国宝高松塚古墳壁画恒久保存対策に関する研究等業務				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。	一部未対応	・事業の専門性の関係上、他の競争者の想定が困難であったため、随意契約事前確認公募により事業者の選定を行ったが、随意契約事前確認公募の運用要件を満たしていないため、今後競争性のある調達方式に改善する。
586	キトラ古墳壁画及び国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開に係る運営・実施事業	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	キトラ古墳壁画及び国宝高松塚古墳壁画修理作業室の公開に係る運営・実施事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。	対応スミ	
587	古墳・壁画等の複製品を用いた展示活用に関する情報収集・分析業務	その他 (行費等)	④無 (前年度限りの事業)		②について、(平成31年度)本事業は平成30年度限りであるが、今後同様の公募を行う際、締切後の申請書類の受付や修正・差替えを認めない旨を明示する。			②について、「一旦受領した書類の差し替え及び再提出は認めない」という規定を明記している。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
588	春日大社所蔵 国宝 古神宝類復元模造事業	その他 (行費等)	③無 (今年度選定プロセス未実施)	春日大社所蔵 国宝 古神宝類復元模造事業				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
589	重要文化財木造文殊菩薩騎獅像・木造普賢菩薩騎象像保存修理事業	その他 (行費等)	③無 (今年度選定プロセス未実施)	重要文化財木造文殊菩薩騎獅像・木造普賢菩薩騎象像保存修理事業				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
590	重要文化財兵庫県箕谷2号墳出土品保存修理事業	その他 (行費等)	④無 (前年度限りの事業)					①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
591	国宝島根県荒神谷遺跡出土品保存修理事業	その他 (行費等)	③無 (今年度選定プロセス未実施)	国宝島根県荒神谷遺跡出土品保存修理事業				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
592	重要文化財 紙本着色西行物語絵巻 国 (文化庁保管) 1巻 復元模写事業の実施について	その他 (行費等)	③無 (今年度選定プロセス未実施)	重要文化財 紙本着色西行物語絵巻 国 (文化庁保管) 1巻 復元模写事業の実施について				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
593	木造五大虚空蔵菩薩坐像 (法界虚空蔵) 模造作成事業	その他 (行費等)	③無 (今年度選定プロセス未実施)	木造五大虚空蔵菩薩坐像 (法界虚空蔵) 模造作成事業				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。		
594	重要文化財紙本墨画五部心観・胎藏旧図様保存修理事業	その他 (行費等)	③無 (今年度選定プロセス未実施)	重要文化財紙本墨画五部心観・胎藏旧図様保存修理事業				②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ⑦について、 ・不採択理由を知らせていないので、通知すべき。 ・契約情報をホームページで公表していないので、公表すべき。		
595	発掘された日本列島展	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	発掘された日本列島展	①について、(平成30年度) 公告期間を前年度より延長した (24日 → 25日)		対応スミ	②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
596	「日本遺産大使」の活動に関する運営事業	その他 (行費等)	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
597	世界遺産普及活用・推進事業	その他 (行費等)	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
598	キトラ古墳保存修理等	その他 (行費等)	①有 (選定プロセス終了)	キトラ古墳保存修理等				①について、本件は「随意契約事前確認公募」方式により随意契約を行ったものである。本方式は、運用要件を満たした場合に限り行うことのできるものであるが、本件はそのプロセスを踏んでおらず競争性のある調達方式に改善すべきである。	一部未対応	・事業の専門性の関係上、他の競争者の想定が困難であったため、随意契約事前確認公募により事業者の選定を行ったが、随意契約事前確認公募の運用要件を満たしていないため、今後競争性のある調達方式に改善する。
599	平城宮跡等整備費	その他 (行費等)	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (庁費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
600	記念物100年記念事業ロゴマーク募集事業	その他 (庁費等)	④無 (前年度限りの事業)							
601	国際連合大学本部施設防災設備他改修工事	その他 (庁費等)	④無 (前年度限りの事業)							
602	私立大学等研究設備整備費等補助金 (専修学校関係)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
603	私立学校施設整備費補助金 (専修学校関係)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
604	生活習慣づくりに関する調査	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
605	次世代の教育情報化推進事業 (小学校プログラミング教育の円滑な実施に向けた教育委員会・学校等における取組促進事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
606	次世代の教育情報化推進事業 (小学校プログラミング教育の研修用教材等開発事業)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
607	私立大学等経常費補助金 (私立高等学校等経常費補助 (特定教育方法支援事業 (長期の宿泊を伴う産業教育に関する特色ある教育活動))	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
608	福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 (福島イノベーション・コースト構想の即戦力となる工業・農業等の専門人材の育成事業)	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業 (福島イノベーション・コースト構想の即戦力となる工業・農業・水産等の専門人材の育成に関する事業)	③について、(平成31年度) 利益相反の範囲等を審査委員に共有すること、また、そのことを公募要領等に記載することに取り組む。 ⑤について、(平成31年度) 外部からの働きかけがあった場合には申し出るよう、審査委員に対して注意喚起することに取り組む。			②について、差し替えや再提出を認めないことについて、公募要領等において明文化すべき。 ③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。 ・申請者からの働きかけがあった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すべき。		
609	福島原子力災害避難区域教育復興設備整備費補助金 (福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業)	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	福島原子力災害避難区域教育復興設備整備費補助金 (福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する事業)						
610	福島原子力災害避難区域教育復興施設整備費補助金 (福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する高校の整備)	補助等	③無 (今年度選定プロセス未実施)	福島原子力災害避難区域教育復興施設整備費補助金 (福島イノベーション・コースト構想等を担う人材育成に関する高校の整備)						
611	高等学校産業教育施設整備費国庫補助金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。		
612	学校教育設備整備費等補助金	補助等	①有 (選定プロセス終了)	学校教育設備整備費等補助金				⑧について、採択及び配分額の決定に際して、現行運用上全ての申請を公平に取り扱っているが、予算が不足した場合等の取扱いについて、明確な採択及び配分の基準を作成するなど、今後も恣意的な運用ができない制度を構築すべき。	対応スミ	
613	スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール	委託	③無 (今年度選定プロセス未実施)	スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業						
614	専門高校の魅力発信に関する調査研究	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					⑤について、採点の集計結果を審査委員全員に情報共有していないので、情報共有すべき。		
615	「文化情報プラットフォーム」の二次利用に係るモデルケースの調査・検証事業	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成31年度) 利益相反の基準を示し、可能性がある委員については申し出るよう委嘱状にも明記することを検討。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
616	国際文化芸術発信拠点形成事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	国際文化芸術発信拠点形成事業	③について、(平成31年度) 利害関係者や利益相反者の範囲を定め、審査委員に共有するとともに、要領等で分かるようにしておく。	対応スミ				

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (行費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
617	平成30年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査業務	委託	④無 (前年度限りの事業)		③について、(平成30年度) 委嘱や審査の際に、利害関係者の範囲を委員に示すこととする。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
618	博士人材データベースの利用者に対する支援及びシステムの運用・データ管理に係る業務	委託	①有 (選定プロセス終了)	博士人材データベースの利用者に対する支援及びシステムの運用・データ管理に係る業務				③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
619	科学技術の状況に係る総合的意識調査2018年度 (NISTEP定点調査2018) の実施	委託	①有 (選定プロセス終了)	科学技術の状況に係る総合的意識調査2019年度 (NISTEP定点調査2019) の実施	⑤について、(平成30年度) 技術審査員の外部有識者には文部科学省から他機関への出向者や文部科学省等の過去の在職者を委嘱しないこととする。	対応スミ		③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。	対応スミ	
620	大学・公的研究機関データ整備2018	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		⑤について、(平成30年度) 技術審査員の外部有識者には文部科学省から他機関への出向者や文部科学省等の過去の在職者を委嘱しないこととする。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
621	大学発ベンチャーへの投資事業者の投資動機付けに関する事例調査	委託	④無 (前年度限りの事業)		⑤について、(平成30年度) 技術審査員の外部有識者には文部科学省から他機関への出向者や文部科学省等の過去の在職者を委嘱しないこととする。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
622	科学技術の中長期的発展と将来社会像に関する調査	委託	④無 (前年度限りの事業)		⑤について、(平成30年度) 技術審査員の外部有識者には文部科学省から他機関への出向者や文部科学省等の過去の在職者を委嘱しないこととする。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
623	科学技術専門家に対する意識調査	委託	④無 (前年度限りの事業)		⑤について、(平成30年度) 技術審査員の外部有識者には文部科学省から他機関への出向者や文部科学省等の過去の在職者を委嘱しないこととする。			③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
624	公立高等学校授業料不徴収交付金	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
625	国費外国人留学生制度 (特別プログラム)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
626	国費外国人留学生制度 (大学推薦SGU等)	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
627	卓越研究員事業	補助等	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
628	外国語教育ポータルサイト事業	その他 (行費等)	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
629	乗用自動車の交換	その他 (行費等)	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)		③について、(平成30年度) 利害関係者や利益相反等の範囲を明確にする					
630	定住外国人の子供の就学促進事業	補助等	①有 (選定プロセス終了)	定住外国人の子供の就学促進事業	⑧について、(平成31年度) 他事業の事例等も参照し、交付要領で明記すべき点等があるか検討する。	対応スミ				
631	国立アイヌ民族博物館グループガイドシステム設計及び導入等業務	委託	④無 (前年度限りの事業)							
632	シンポジウム「あるべきすがたをさぐる」(仮題) 実施業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。 ⑦について、不採択理由を知らせていないので、通知すべき。		
633	アイヌ子弟高等学校等進学奨励費事業 (大学)	補助等	①有 (選定プロセス終了)	アイヌ子弟高等学校等進学奨励費事業 (大学)						
	私立大学等経常費補助 (私立大学研究ブランディング事業)	補助等	④無 (前年度限りの事業)		・ 書面審査後のみならず書面審査の前に事業委員会を開催し、審査の観点をより明確にする。 ・ 申請校に対し提供する情報や公開情報を充実させ透明性の向上を図る。			・ 利害関係者や利益相反者の範囲に関し、現行の規定が曖昧であることから、例示を付記すること等により利害関係者の範囲を明確にすること。 ・ 委員の守秘義務の遵守については、委員就任時に説明し、その趣旨の徹底を図ること。 ・ 申請者からの働きかけ等があった場合には申し出ることを審査委員に対して義務付けるとともに、その旨審査要領等に記載すること。		

平成30年度公募型事業調査フォローアップ

番号	事業名 (B)	補助等・委託・その他 (庁費等) (C)	平成31年度 (令和元年度) 選定プロセス実施の有無 (D)	平成31年度 (令和元年度) 事業名 (E)	公募型事業調査票の対応状況					
					事業担当課の改善に向けた取組 (F)	対応状況 (G)		調査・検証チームにより更なる改善を促されたもの (H)	対応状況 (I)	
						状況 (G-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (G-②)		状況 (I-①)	一部未対応、未対応の理由及び今後の対応予定 (I-②)
1001	ICTを活用した教育推進自治体応援事業 (ICT活用の健康面への影響に関する調査研究)	委託	②有 (選定プロセス実施中又は今後実施予定)							
1002	起業家人材の特徴分析	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
1003	大学横断的かつ競技横断的統括組織 (日本版NCAA) 創設事業スポンサーシップに対する企業ニーズ調査事業)	委託	④無 (前年度限りの事業)							
1004	日本文化海外発信推進事業「現代戯曲上演による日韓文化交流事業」実施業務	委託	④無 (前年度限りの事業)							
1005	平成30年度民族共生象徴空間におけるアイヌ語体験プログラムの開発事業	委託	④無 (前年度限りの事業)							
1006	文化財保存活用地域計画広報コンテンツ作成	委託	④無 (前年度限りの事業)							
1007	自主研究の効果等に関する調査・分析業務	委託	④無 (前年度限りの事業)					③について、利害関係者や利益相反等の範囲を審査要領に明文化すべき。		
1008	日本版NCAA創設事業 (設立記念シンポジウム事業)	委託	④無 (前年度限りの事業)							
1009	スポーツ産業の成長促進事業 (③スポーツビジネスイノベーション推進事業 (スポーツオープンイノベーション))	委託	④無 (前年度限りの事業)							